

有実住宅 8 号棟外壁・ガス管改修工事

建築			
A- 1	外壁改修工事特記仕様書 1- 1	A-17	(既存参考図) 外部仕上表
A- 2	外壁改修工事特記仕様書 1- 2 ・改修仕様書	A-18	(既存参考図) 内部仕上表
A- 3	外壁改修工事特記仕様書 2	A-19	(既存参考図) 建具表 1
A- 4	外壁改修工事特記仕様書 3	A-20	(既存参考図) 建具表 2
A- 5	付近見取図・配置図・仮設工事特記仕様書	A-21	(既存参考図) 雑詳細図 1 (窓手摺・隔板)
A- 6	1 ~ 3 階平面図	A-22	(既存参考図) 雑詳細図 2 (バルコニー手摺)
A- 7	4 階・屋根平面図		
A- 8	立面図 1		
A- 9	立面図 2		ガス設備
A-10	断面詳細図	M- 1	機械設備特記仕様書
A-11	1 ・ 2 階天井伏図	M- 2	1 ~ 3 階平面図 ガス配管更新図
A-12	3 ・ 4 階天井伏図	M- 3	4 階・屋根平面図 ガス配管更新図
A-13	調査結果図 1 (東・西立面)	M- 4	立面図 1 ガス配管更新図
A-14	調査結果図 2 (南立面)	M- 5	P S 配管撤去・新設図
A-15	調査結果図 3 (北立面)	M- 6	流し廻り ガス撤去・新設図
A-16	調査結果図 4 (階段)		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	外壁劣化調査仕様書（設計図書記載数量は参考数量につき、足場設置後再調査を行うこと）
7 石綿含有建材の除去及び処理	1 事前調査 <1.4.1> ※発注者事前調査では、官公署へ報告を行う。 7a) 1) 含有無検出 (調査位置：外壁等)	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について事前調査を行い、調査結果をとりまとめて監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。 (1) 使用部位の確認 (2) 種別、厚さ等の確認 (3) 使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認 ・ 石綿含有分析調査 (※ 不要 ・ 必要(内容は下記による)) ※ 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による定性分析 ※ 分析必要部屋名等 (※ 図示) 分析必要箇所 (箇所)	5	石綿含有保温材等の除去 <6.4.1~6.4.4>	⑧養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑤により処理等を行う。 ⑨後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。 1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による 石綿含有保温材等の仕様 使用部位 2) 養生等 ①石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生(責任不要)を行う。 ②作業場の隔離 (・ 行う ※ 行わない) 石綿含有保温材等の除去にあたり、掻き落とし・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離を行うこと。 3) 作業場の隔離を行う場合は、4 2) を適用する。 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし ・ 石綿含有吹き付け材の除去による除去物の処理 (※ 密封処理(二重袋梱包) ・ セメント固化) 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 4 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生シート等の除去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。	・ 調査内容範囲 壁面の打音及び目視調査 建物全面に対して打音及び目視により、浮き、ひび割れ及び欠損について調査を行う。 各調査で異常のある場合は、計測し図面に幅・長さ・厚さ・面積などを記入表示する。 調査内容 A. 浮き表面の確認 床・外壁面等を全面パールハンマーなどで軽打し、打診音によって浮き部を調査する。 B. ひび割れ ①ひび割れ幅 クラックスケールでひび割れ幅を測定し0.2mmを越え1.0mm以下と1.0mmを越えるものとに分けて記録する。 ②ひび割れの長さ メジャー等で、ひび割れの長さを測定する。 ③漏水の確認 目視によって漏水の有無を確認する。 C. 欠損 ①欠損の確認 仕上げ塗り(モルタル塗り等)躯体の欠損と鉄筋露出の有無を調査する。 ②浮き等の確認 欠損部の大きさ・深さ・破断面のモルタル厚さを調査する。
	2 石綿粉じん濃度測定 <6.1.3>	石綿粉じん濃度測定を行い、記録し監督員に報告する。 ※ 測定方法は、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)最新版による。 測定点の取り方 (1) 処理作業前 ・ 処理作業室内(点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界(点) (2) 処理作業中 ・ 処理作業室内(1点) ※ セキュリティーゾーン入口(点) … 空気の流れを確認 ※ 負圧・除じん装置の排出口(点) … 除じん装置の性能確認 ・ 施工区画周辺又は敷地境界(2点) (3) 処理作業後(閉鎖シート撤去前) ※ 処理作業室内(点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界(2点)	6	石綿含有成形板等の除去 <6.5.1~6.5.4>	1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による 石綿含有成形板等の仕様 使用部位 2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。 3) 除去工法 ①原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸シリウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生(責任不要)を行う。 ②除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないこと他、粉じんの飛散防止に努める。 ③破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有石こうボード ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定にやむを得ない場合は、監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることを表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の除去にあたっては、シート等を十分に清掃する。	調査要領 A. 浮き部・欠損部 (算出方法) 浮き部の端部に100mmをプラスする。 A=a+0.2 (m) B=b+0.2 (m) S=A×B (㎡) (浮き面積) B. ひび割れ調査部分 (算出方法) 実測したクラックの端部に150mmをプラスする。 L=0.15+1+0.15 (m)
	3 除去工事共通事項 <6.2.1~6.2.9>	1) 専門工事業者 石綿含有吹き付け材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出すること。 2) 作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ①石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管理させること。 ②排出事業者は、石綿含有吹き付け材、石綿含有保温材等の除去工事では、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させること。 3) 除去作業者 石綿含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という。)は、石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号。以下「石綿規則」という。)に基づく特別の教育を受けた者とする。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 4) 施工計画書 施工に先立ち、処理工事に伴う石綿粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督員の承認を受けること。 5) 表示及び指示 ①関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、石綿除去作業中等の表示を行う。 ②石綿の有害性、取扱上の注意事項、使用すべき保護具の指示を行う。 ③「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。 6) 保護具・保護衣 ①作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともに粉じんが付着しにくく、服内部に侵入しにくい保護衣又は作業衣を着用する。 ②監督員の現場作業の立入確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。 7) 官公署その他への手続き ①労働安全衛生法の吹き付け石綿除去作業の工事計画書(労働基準監督署) ②「石綿規則」第5条第1項の規定による作業票(労働基準監督署) ③大気汚染防止法の特定粉じん排出作業実施届出(都府県知事) ④その他、各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出(特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等) 8) 適用基準等 ※ 建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説	9	除去工事共通事項 <6.2.1~6.2.9>	1) 専門工事業者 石綿含有吹き付け材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出すること。 2) 作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ①石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管理させること。 ②排出事業者は、石綿含有吹き付け材、石綿含有保温材等の除去工事では、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させること。 3) 除去作業者 石綿含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という。)は、石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号。以下「石綿規則」という。)に基づく特別の教育を受けた者とする。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 4) 施工計画書 施工に先立ち、処理工事に伴う石綿粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督員の承認を受けること。 5) 表示及び指示 ①関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、石綿除去作業中等の表示を行う。 ②石綿の有害性、取扱上の注意事項、使用すべき保護具の指示を行う。 ③「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。 6) 保護具・保護衣 ①作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともに粉じんが付着しにくく、服内部に侵入しにくい保護衣又は作業衣を着用する。 ②監督員の現場作業の立入確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。 7) 官公署その他への手続き ①労働安全衛生法の吹き付け石綿除去作業の工事計画書(労働基準監督署) ②「石綿規則」第5条第1項の規定による作業票(労働基準監督署) ③大気汚染防止法の特定粉じん排出作業実施届出(都府県知事) ④その他、各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出(特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等) 8) 適用基準等 ※ 建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説	報告書その他 ①報告書は、製本にして監督員に2部提出する。 ②調査の状況、試験状況等を示す記録写真を提出する。記録写真は、記録写真はカラーサービス版とし、枚数は監督員の指示による。 ③改修仕様・改修箇所を明示した図面A2版とCADデータ(JWW)を提出する。 ④設計数量との増減比較を作成し、変更のある場合は変更契約を行う。但し、軽微な場合は省略する。
	4 石綿含有吹き付け材の除去 <6.3.1~6.3.4>	1) 処理を行う石綿含有吹き付け材の仕様及び部位 ※ 図面による ・ 下記による 石綿含有吹き付け材の仕様 使用部位 2) 作業場の隔離、養生等 ①除去に伴い石綿の作業場から外部への飛散防止及び処理を行わない他の部位への汚染を防止するため、プラスチックシート等を用いて責任隔離養生を行う。 ②隔離した作業場内は、HEPAフィルターを備えた負圧除じん装置により、常時負圧を保つ。 ③隔離した作業場内への出入りによる石綿粉じんの二次汚染を防止するため、前室、洗浄室及び更衣室の3室で構成するセキュリティーゾーンを設置する。 ④洗浄室にはエアシャワー設備を設ける。 ⑤除去物の処理 ※ 密封処理(二重袋梱包) ・ セメント固化 3) 除去工法 ※ 図面による ・ 共通仕様書による 施工場所() 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①除去した石綿含有吹き付け材等を搬出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることを表示を行う。当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。 処分場所() 運搬距離() 受入条件(※平日受入)) ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定にやむを得ない場合は、監督員と協議すること。 ②石綿を廃棄物として排出した時は、その部数、排出量と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生用のプラスチックシートの除去に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。 ④養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ⑤壁面等の養生用のプラスチックシートの除去は、集じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し、原則として、隔離空間内部の空気中の総繊維数濃度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを確認した後に行う。なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑥養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後に解体撤出する。 ⑦床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。	7	石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の除去 石綿含有仕上塗材の仕様 使用部位 2) 養生等 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生(責任不要)を行う。 3) 除去工法 (施工場所：※ 図示) ①石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。 ②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用するなど粉じんの飛散を防止する。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 6 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 処分先については、監督員の指示による。 ・ 埋立処分 (・ 安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定にやむを得ない場合は、監督員と協議すること。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の除去にあたっては、シート等を十分に清掃する。	改修仕様書 改修箇所 既存仕上 改修内容 A 外壁・軒先 コンクリ打放し補修 AR-4型吹付 ①劣化改修 ②水洗い(15MPa程度)後、下地調整塗材(C-1) ③複層塗材E塗り(7ヶ所系) ※ゆず肌状 R-5塗り、2色程度の塗分けにより使用するものとする B 外壁/階段壁 コンクリ打放し補修 ①劣化改修 ②水洗い(15MPa程度)後、下地調整塗材(C-1) C 軒裏、n'k2ニ裏 コンクリ打放し補修 AR-4型吹付 ①劣化改修 ②水洗い(15MPa程度)後、下地調整塗材(C-1) ③外装薄塗材E塗り(7ヶ所系) ※砂壁状 R-5塗装 D n'k2ニ床(立上り共) 防水t4t4金銀押え(目地切) ①水洗い(15MPa程度) ②下地処理 ③t4t4系塗膜防水(床面/t4t4)仕様 E 窓上庇 防水t4t4金銀押え ①水洗い(15MPa程度) ②下地処理 ③t4t4系塗膜防水(X-2) F 階段室(踏面、蹴上) 防水t4t4金銀押え 水洗い(15MPa程度) G 階段室壁・腰 t4t4金銀押え EP-1 R-5塗り ①劣化改修 ②水洗い(15MPa程度)後、下地調整塗材(C-1) ③EP-G塗り H 階段室巾木 防水t4t4金銀押え 水洗い(15MPa程度) I 階段室(階段室、最上階天井) コンクリ打放し補修 EP-1 R-5塗り ①劣化改修 ②水洗い(15MPa程度)後、下地調整塗材(C-1) ③EP-G塗り J n'k2ニ手摺、窓手摺、タテ引込閉閉器等、他電気系BOX類 n'k2ニ隔板(枠部) 鋼製 焼付塗装 ①下地調整R2種 ②錆止め塗料B種1回塗り ③DP3級* t4t42回塗り K PS扉、玄関扉、LPG庫引戸、等 鋼製 焼付塗装 ①下地調整R2種 ②錆止め塗料B種1回塗り ③DP3級* t4t42回塗り ※玄関扉は階段室側のみ(枠共) L 窓面合、階段蹴場手摺天端 防水t4t4金銀押え ①水洗い(15MPa程度) ②下地処理 ③t4t4系塗膜防水(X-2) M n'k2ニ隔板(n'k2部) 石綿シート5t VP塗り ①下地調整R2種 ②下地処理 ③EP-G塗り ※避難表示タテカ-両面貼付(400×150)計24枚 N 堅壁 硬質塩化ビニルt7 ｶﾀ-VU75φ ①下地調整R2種 ②下地処理 ③DP塗り O n'k2ニドレン 錆鉄製 ①下地調整R2種 ②下地処理 ③t4t4系酸性t4t4樹脂塗料塗布(t4t4-化研 t4t4t4) P 物干金物 7t4t4製 400×550(48個)(最上階1780 16個) 撤去 7t4t4製物干金物新設 新協和/SK-4164A 24組 SK-4178A 8組 Q 打掃目地 シーリング(25×10mm程度) ①既存シーリング 撤去 ②下地処理 ③t4t4系シーリング(PU-2)充填 R 伸縮目地、タテ引り、換気層 シーリング(15×10mm程度) ①既存シーリング 撤去 ②下地処理 ③t4t4系シーリング(PU-2)充填 (タテ引りは東成t4t4系シーリング(MS-2)) S 床下換気孔、換気ｼﾞｽﾀｰ 樹脂製(外径185φ) 下地処理 DP塗り ※脱着及び破損7箇所 取替え T 避難ﾊﾝﾌﾞ 鋼製 焼付塗装 700×660 ①下地調整R2種 ②錆止め塗料B種1回塗り ③DP3級* t4t42回塗り U n'k2ニ手摺(n'k2部) 7t4t4ドｲﾝｸﾞn'k2 ｶﾀ焼付塗装 1600×920 ①下地処理 ②DP3級* t4t42回塗り V 集合郵便受 鋼製 1300×660×140(8戸用) 2箇所 撤去 BL集合郵便受箱(SA型) 新協和/SK-1085BL 1290×514×140 t4t4t4製 2箇所 W LPG炉壁 コンクリt7 t7t4t4積み ①水洗い(15MPa程度)後、下地調整塗材(C-1) ②複層塗材E塗り(7ヶ所系) X 棟番号表示版 耐食7t4t4板 430×860×50 t7t4t4焼付塗装 ①下地調整R2種 ②DP3級* t4t42回塗り Y 電線室 t7t4n'k2 20φ~60φ 下地処理 DP塗り Z 階段室 掲示板 t4t4t4掲示板 550×400 2箇所撤去 t4t4t4掲示板 550×410新設 新協和/SK-401-1S(t7t4-貼付) 2箇所 a 階段室 照明ｽｲｯﾁﾌﾟﾚｰﾄ スｲｯﾁ及びﾌﾟﾚｰﾄ撤去 8箇所 スｲｯﾁ及びﾌﾟﾚｰﾄ新設 n'k2t4t4/WNS001010-WN3700020-WN6001W010 8箇所 b 階段室 t4t4t4押釦ﾌﾟﾚｰﾄ新設 t4t4t4押釦ﾌﾟﾚｰﾄ撤去 16箇所 t4t4t4押釦ﾌﾟﾚｰﾄ新設 n'k2t4t4/JIS C 0920 t4t43 EG331 16箇所 c 階段室 室名札 t7t4t4t4室名札 270×135撤去 16箇所 t7t4t4t4室名札 270×135新設 新協和/SK-602AP 16箇所 d 階段室 階数表示板 階数表示板 t7t4t4t4製120φ撤去 8箇所 階数表示板 t7t4t4t4製120φ新設 新協和/SK-601-SW 8箇所 e 階段室 防鳥ネット 木製柱防鳥ネット 撤去 図示による f 階段室 t4t4t4t4 鋼製/t4t4t4 撤去 92箇所 図示による g 階段室 消火器表示ﾌﾟﾚｰﾄ 消火器表示ﾌﾟﾚｰﾄ撤去 80×240 消火器表示ﾌﾟﾚｰﾄ新設 80×240 8枚 h DK 流し台 流し台 L=1800 16台 取り外し、ガス配管更新後再取り付け 16台(建築工事) i t7t4t4t4物置 2650×1400×H2000 1棟 仮設足場を交す範囲で移設、外壁工事後後復旧	

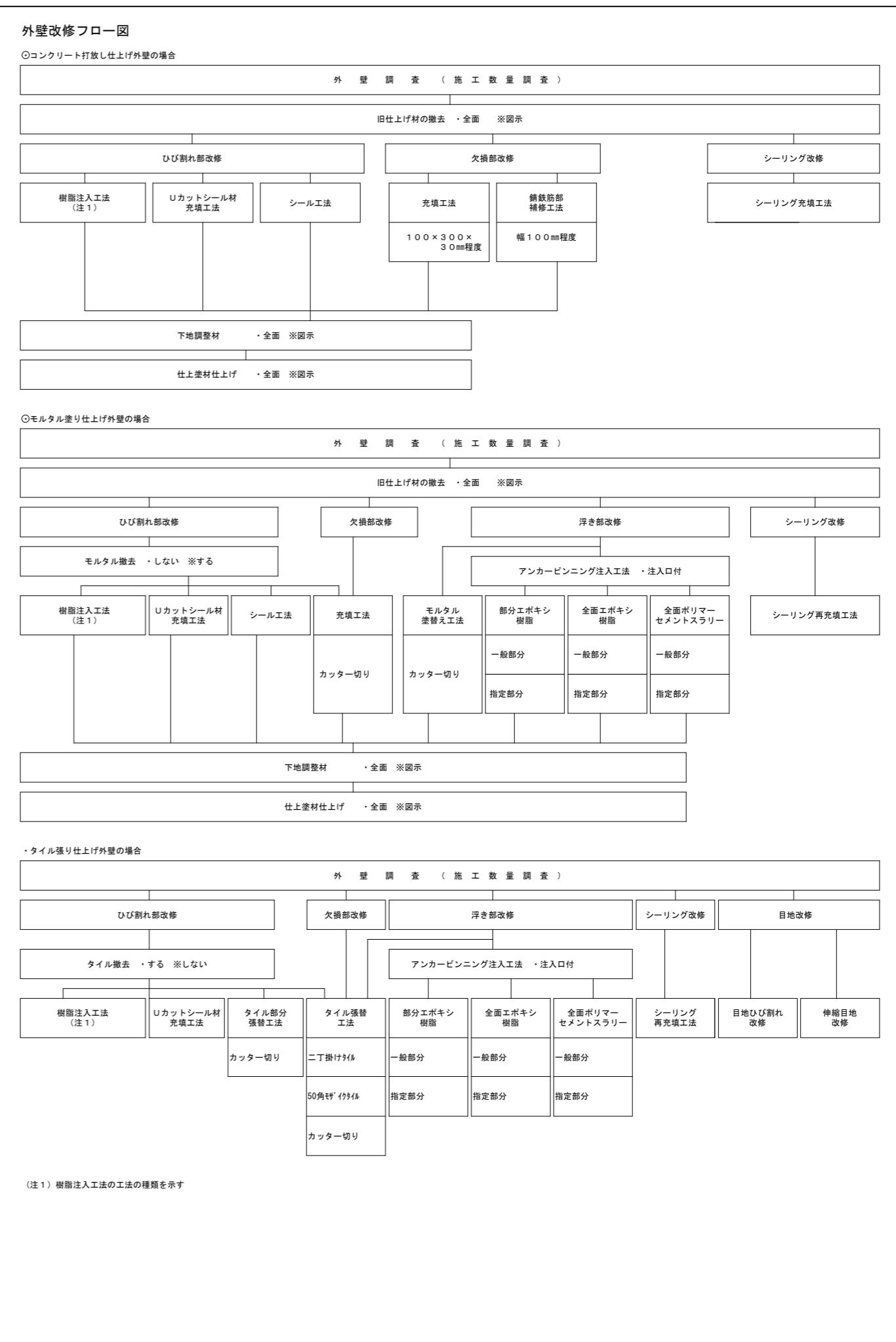
名称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		C 鋼鉄筋部処理		D 浮き部処理		
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理【サンダー工法】	A-2 モルタル面表面劣化部処理【サンダー工法】	B-1 打放し面樹脂注入工法【標仕4.2.5】 ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法【標仕4.2.6】 ひび割れ幅 1.0mm超	B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法【標仕4.2.6】 ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-4 モルタル面樹脂注入工法【標仕4.3.6】 ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法【標仕4.3.6】 ひび割れ幅 0.2~1.0mm			
改修前										
改修後										
工程	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面・部分） ②水洗い（15Mpa程度） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面・部分） ②水洗い（15Mpa程度） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③シーリング材打放 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①ひび割れ面モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）			
設計数量	13.66 m ²	29.28 m ²	設計数量：ひび割れ幅 0.2~0.5mm (0.0)m ひび割れ幅 0.5~1.0mm (0.0)m ()内は季節ひび割れ数量を示す	設計数量：30.77 m	設計数量：0.0 m	設計数量：ひび割れ幅 0.2~0.5mm (0.0)m ひび割れ幅 0.5~1.0mm (0.0)m ()内は季節ひび割れ数量を示す	設計数量：0.0 m			
名称	B ひび割れ部処理		C 鋼鉄筋部処理		D 浮き部処理					
記号・仕様	B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超	B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm	C-1 打放し面鋼鉄筋部処理	C-2 モルタル面鋼鉄筋部処理	D-1 モルタル面はつき					
改修前										
改修後										
工程	①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③シーリング材打放 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①鋼鉄筋周囲のはつき ②鋼高とし ③水洗い（15Mpa程度） ④防錆処理 ⑤はつき部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①カッター縦切り（C-3） ②浮き部はつき ③鋼高とし ④水洗い（15Mpa程度） ⑤防錆処理 ⑥はつき部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①カッター縦切り（C-3） ②浮き部はつき ③水洗い（15Mpa程度） ④はつき部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）					
設計数量	6.02 m	0.0 m	設計数量 69.53 m	設計数量 0.0 m	設計数量 0.0 m ²					
名称	D 浮き部処理									
記号・仕様	D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法【標仕4.3.11】	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法【標仕4.4.9】			D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法【標仕4.3.12】	D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法【標仕4.4.10】				
改修前										
改修後										
工程	①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ②孔内エアークリ 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所	⑤穿孔埋戻し【エポキシパテ】 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦水洗い（15Mpa程度） ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。	①一般部分標準グリッド（250×250） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（200×200） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリ 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔埋戻し【エポキシパテ】 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑥注入部穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリ 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔埋戻し【エポキシパテ】 ⑩ワグ-パ ⑪水洗い（15Mpa程度） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①一般部分標準グリッド（200×200） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（110×110） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）	③収縮部 （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ④アンカーピン固定部 ・注入部	設計数量：①一般部分：【見上げ面】8.47 m ² 【見下し面】0.0 m ² ②指定部分：0.0 m ² ③収縮部：30.24 m	設計数量：①一般部分：0.0 m ² ②指定部分：0.0 m ² ③収縮部：0.0 m
名称	D 浮き部処理									
記号・仕様	D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法【標仕4.3.13】	D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法【標仕4.4.11】			D-5 モルタル面注入部アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法【標仕4.3.14】	D-5' タイル面注入部アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法【標仕4.4.12】				
改修前										
改修後										
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリ 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔埋戻し【エポキシパテ】 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑥注入部穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリ 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔埋戻し【エポキシパテ】 ⑩ワグ-パ ⑪水洗い（15Mpa程度） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①一般部分標準グリッド（200×200） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（110×110） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）		①穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリ 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入部）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔埋戻し【エポキシパテ】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦水洗い（15Mpa程度） ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-5'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。	①一般部分標準グリッド（330×330） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（250×250） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）	③収縮部 （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ④注入部アンカーピン固定部 ・注入部	設計数量：①一般部分：0.0 m ² ②指定部分：0.0 m ² ③収縮部：0.0 m	設計数量：①一般部分：0.0 m ² ②指定部分：0.0 m ² ③収縮部：0.0 m

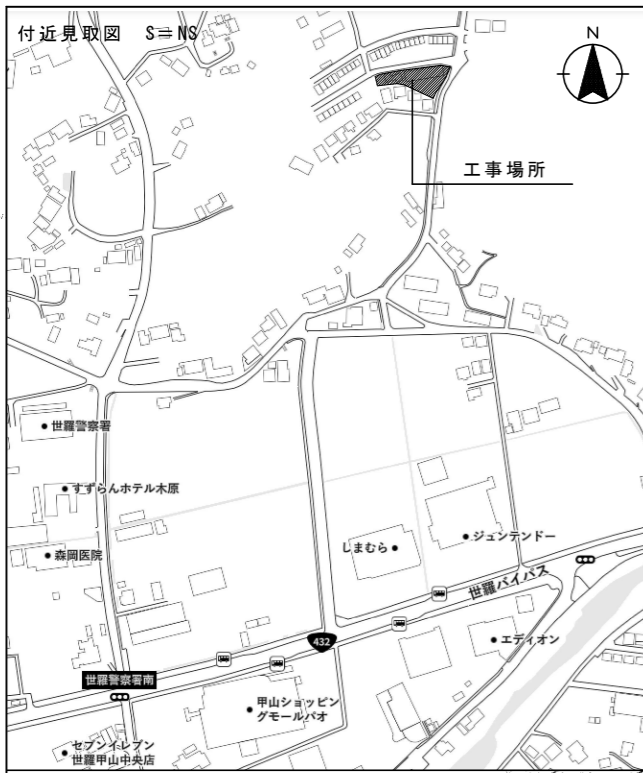
名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]	
改修前		
改修後		
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い (15Mpa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※D-6' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 設計数量：①一般部分： 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③幅幅部： 0.0 m	①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分) ③幅幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ※注入口付アンカーピンニング固定部 ※注入口

名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6' と同じ	D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4. 4. 15]
改修前		
改修後		
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [ポリアセトパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [ポリアセトパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い (15Mpa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※D-7' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 設計数量：①一般部分： 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③幅幅部： 0.0 m	①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン（注入口付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは樹脂パテ] 設計数量： 0.0 m ²

名称	E 欠損部処理	
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]
改修前		
改修後		
工程	①欠損部はつり等での整形 ②水洗い (15Mpa程度) ③欠損部はつり部埋戻し [ポリアセトパテ又はポリアセトパテ] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 設計数量： 4.21 m ²	①欠損部・鉄筋周辺はつり等での整形 ②鉄筋とし ③水洗い (15Mpa程度) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [ポリアセトパテ又はポリアセトパテ] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 設計数量： 0.0 m ²

名称	F 外壁複合改修工法	
記号・仕様	F 外壁複合改修工法	
改修前		
改修後		
工程	①下地補修後 ②プライマー下塗り ③ポリマーペースト中塗り ④三輪ネット張り ⑤ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑥ポリマーペースト中塗り ⑦アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止φ450) ⑧シーリング打放 (MS-2) ※モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。	
設計数量	ネット張り	39.0 m ²
	水切	45.2 m





工事場所



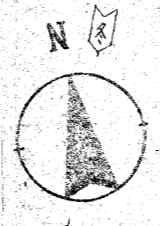
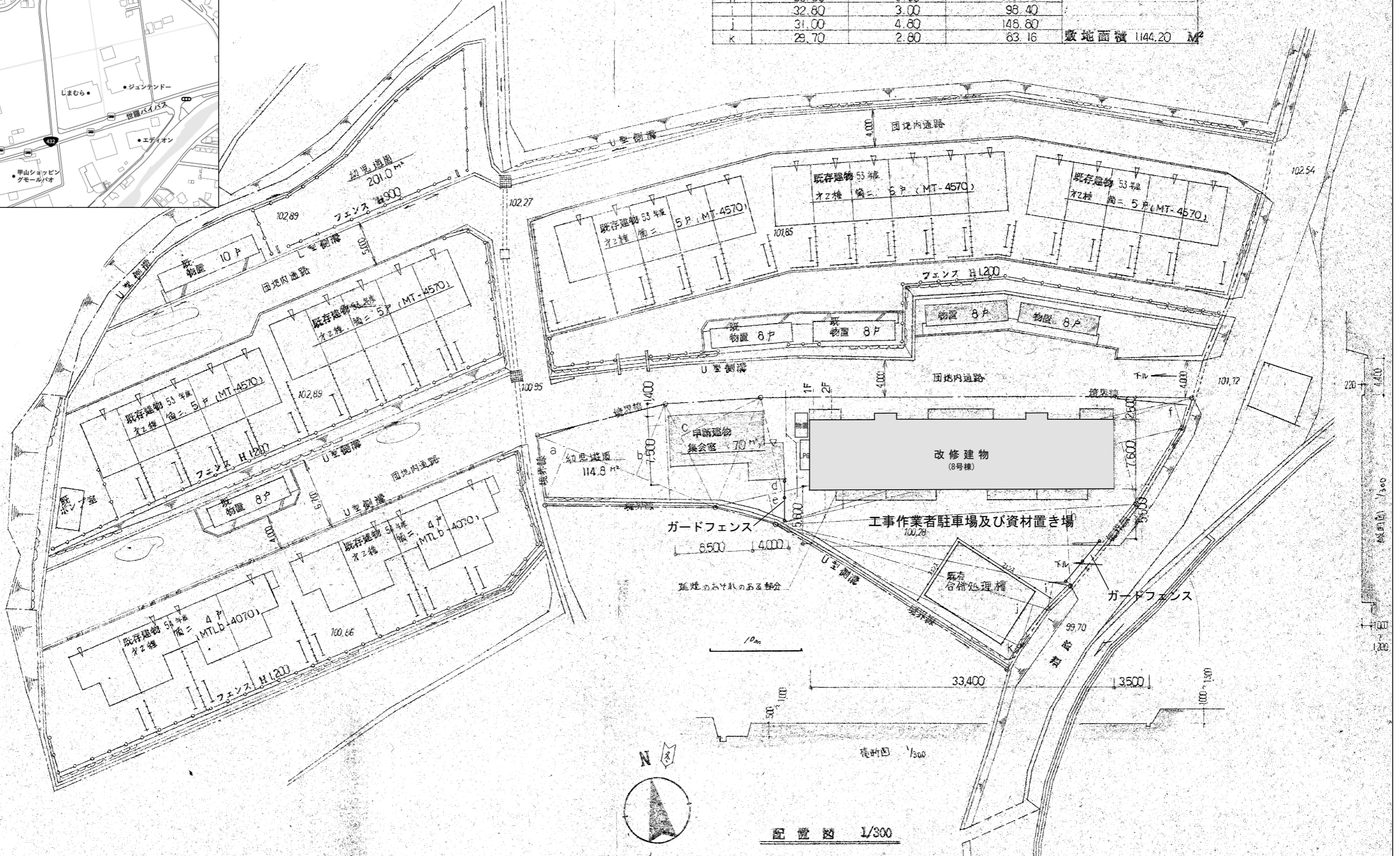
仮設工事特記仕様書

- ①配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際に施工においては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ②仮設計画は監督員の承諾を得る。
- ③仮設足場（先行足場、階段共）には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
- ④入居者及び第三者が、工事エリアに入れないように、仮設足場1段目には金網等を設置し、施錠付きの出入り口を設けること。
- ⑤階段室等の建物出入り口には、落下防止対策を講ずること。
- ⑥エアコンは、使用できるように室外機を養生すること。
- ⑦外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りすること。

求積表

区画	幅	深	積	計	坪
a	21.00	6.60	138.60	計	2286.40
b	21.00	8.60	180.60		
c	12.60	9.60	120.96		
d	53.30	10.50	559.65	%	1144.20
e	53.30	3.20	170.56		
f	47.40	2.80	132.72		
g	45.60	7.00	319.20		
h	39.50	8.50	335.75		
i	32.80	3.00	98.40		
j	31.00	4.80	148.80		
k	28.70	2.80	80.36	敷地面積	1144.20 M ²

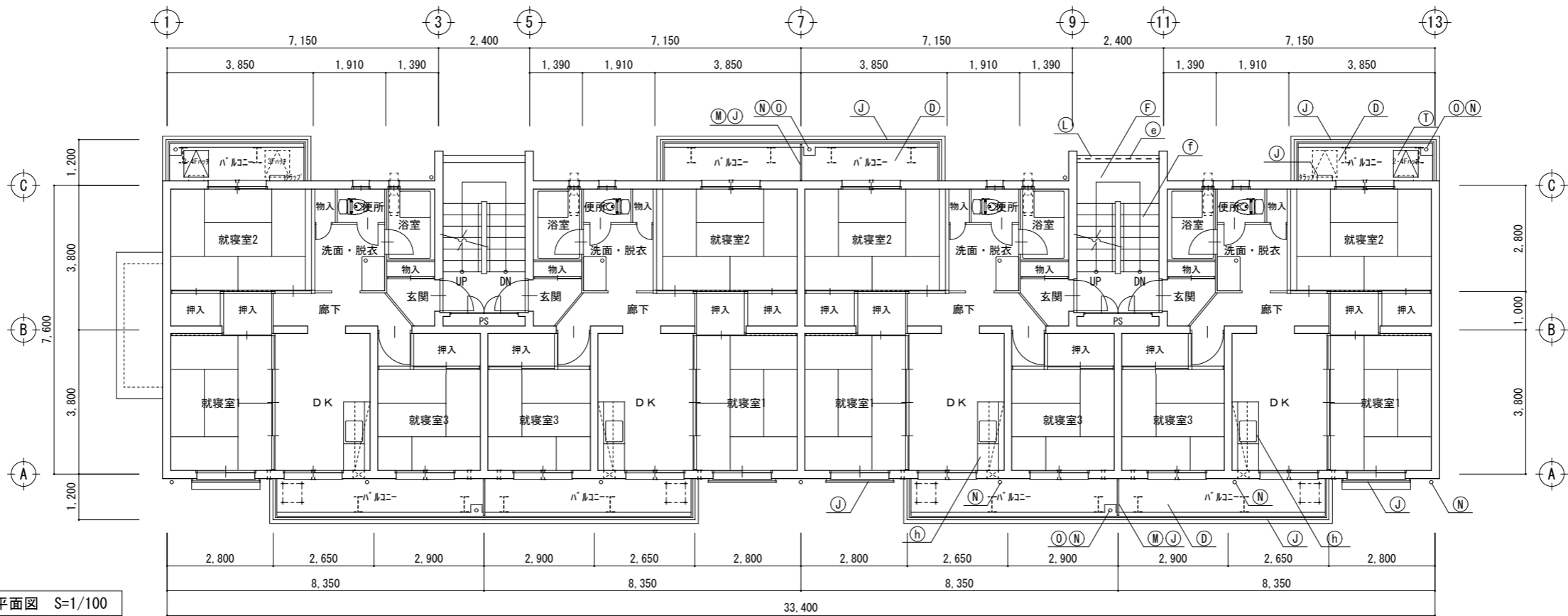
800509



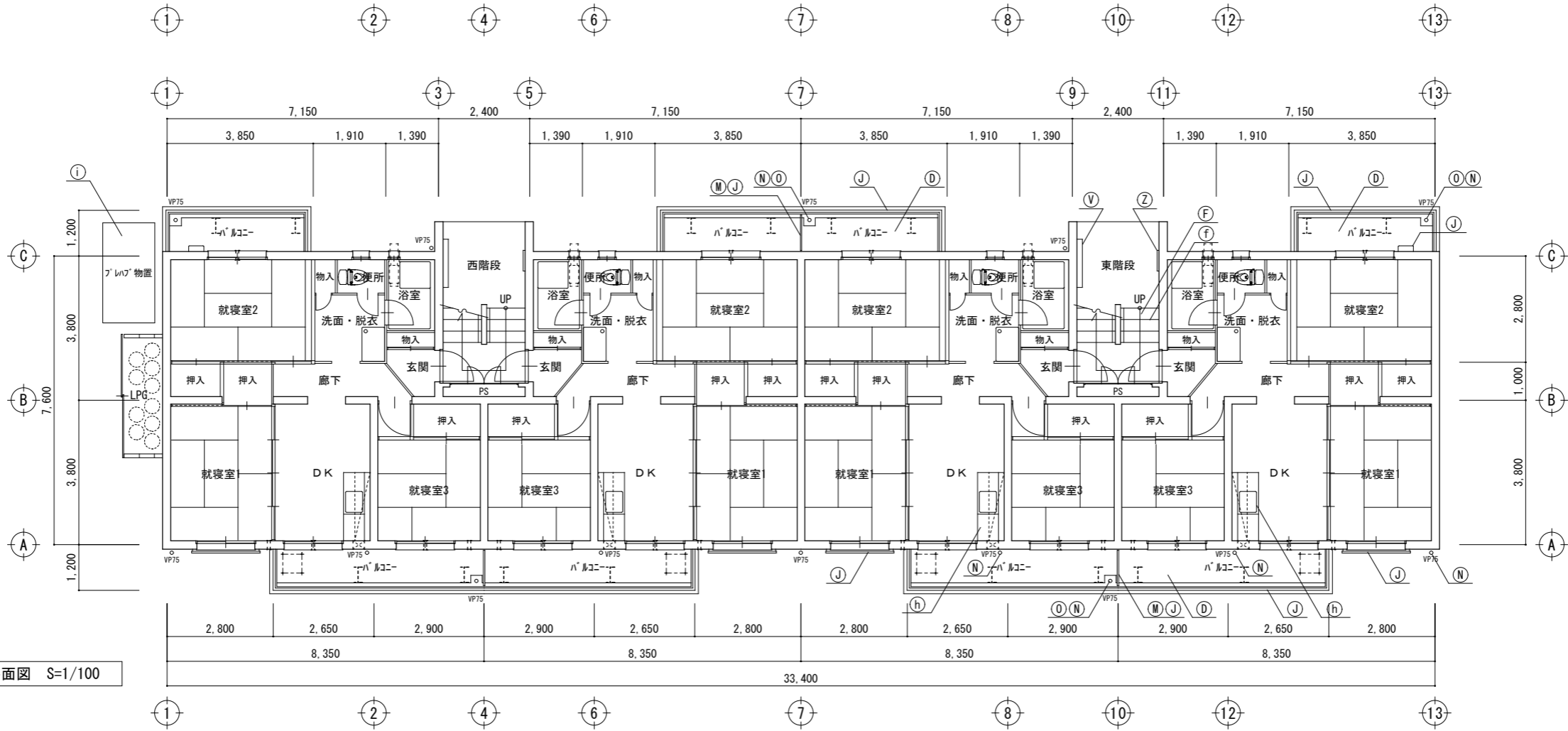
配置図 1/300

担当	A2	100%	訂正
担当 岡田			
製図 2026.3.25	A3	71%	
検図 2026.3.25			

特記



2・3階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

※改修仕様表示 (A)～は原則左右対称・各階共通とする

岡田設計

福山市郷分町628-6 TEL (084) 951-2728 一級建築士登録第218306号 岡田 秀仁

担当	岡田	A 2	100%
製図	2026. 3. 25	A 3	71%
検図	2026. 3. 25		

訂正

特記

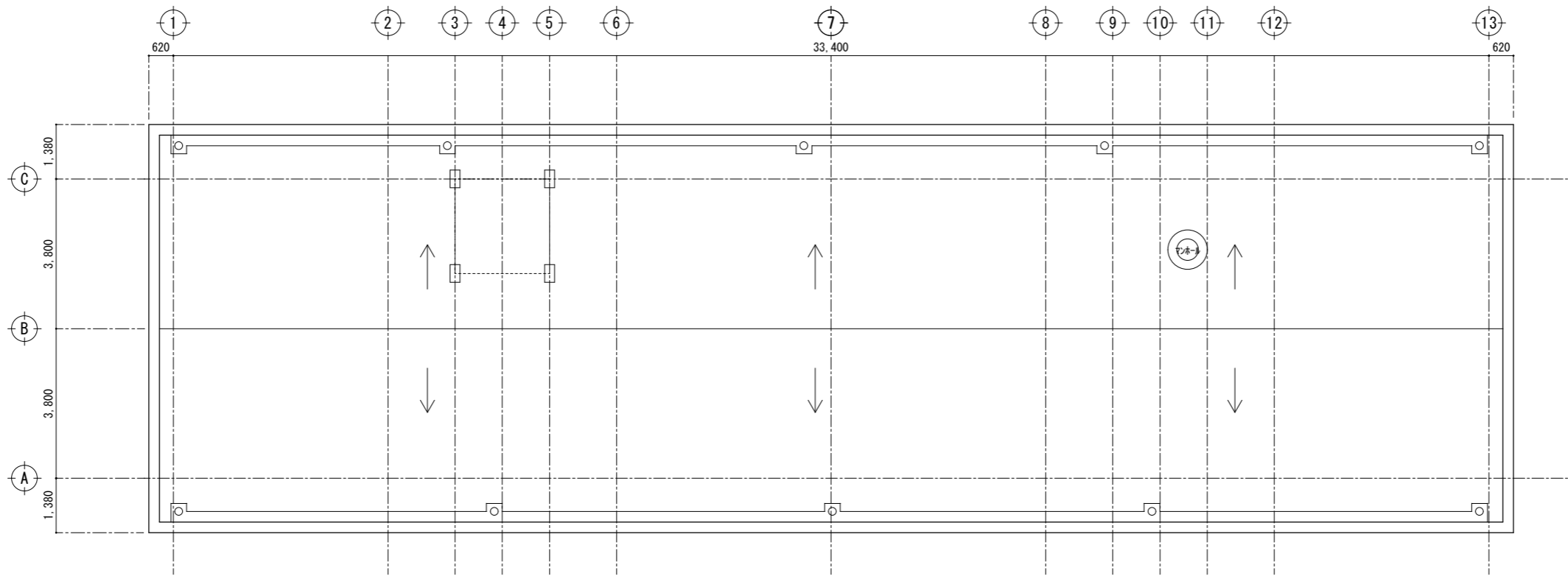
有実住宅8号棟外壁・ガス管改修工事

A-06

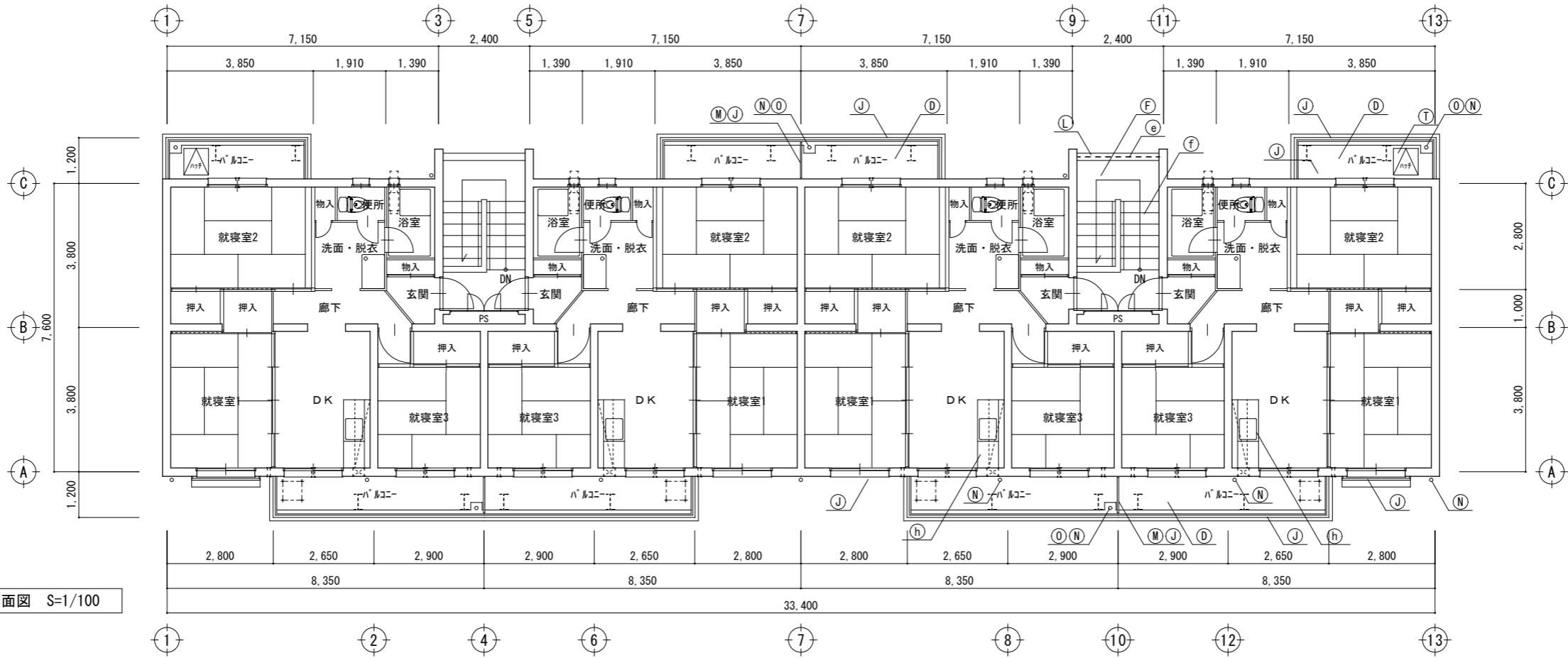
1～3階平面図

S=1/100

意匠

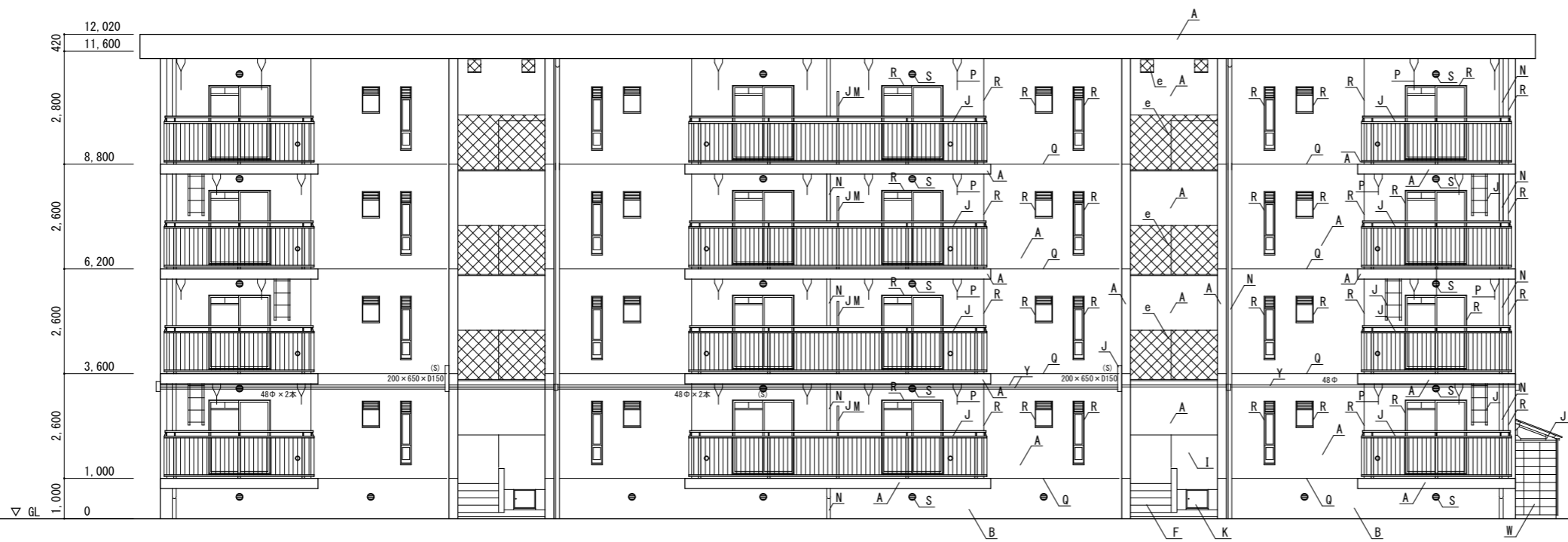


屋根平面図 S=1/100

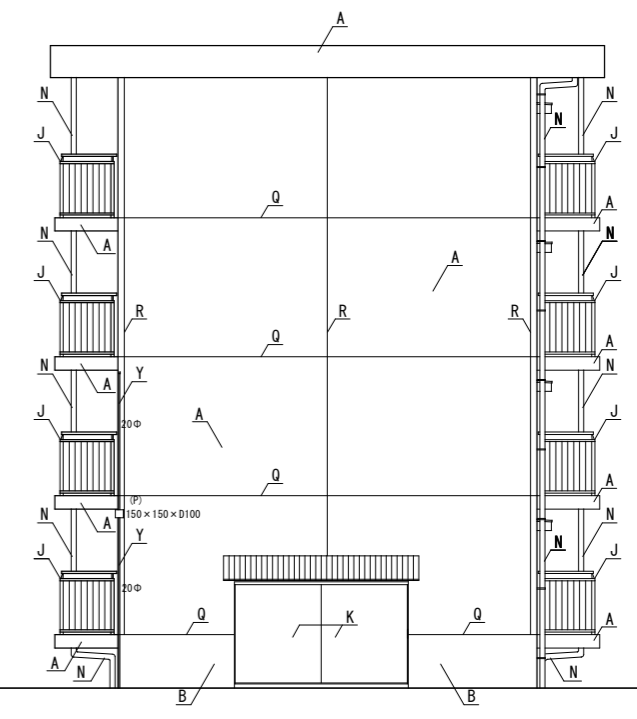


4階平面図 S=1/100

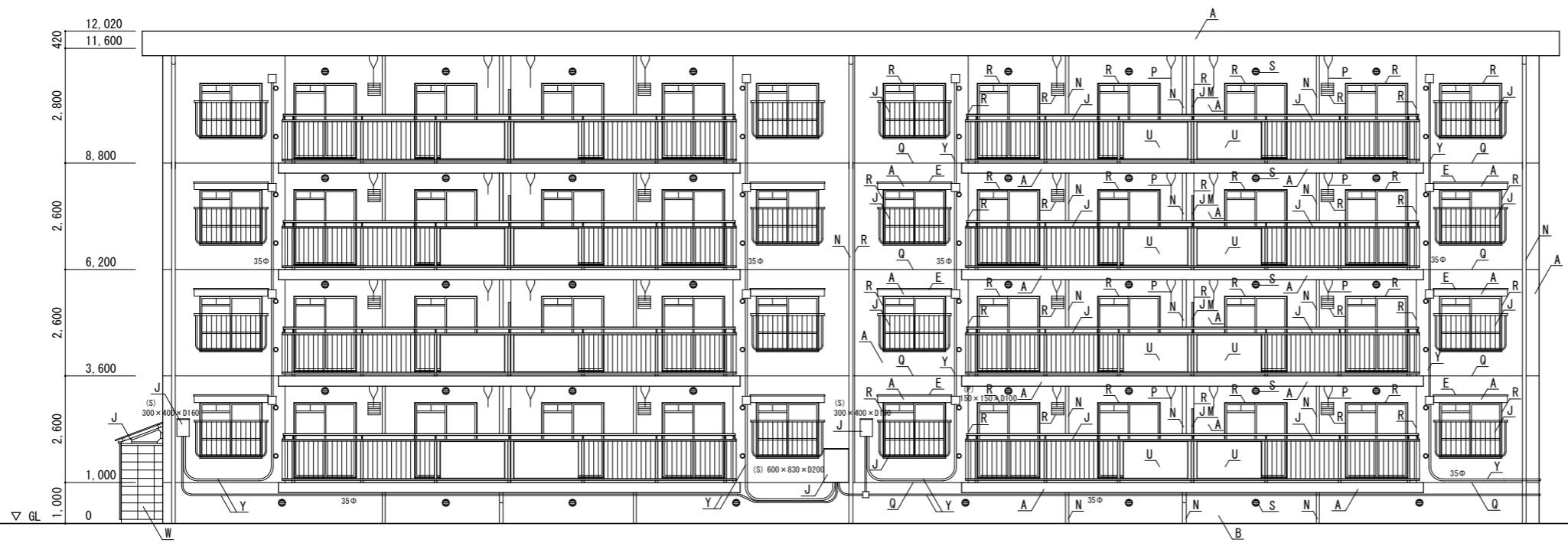
※改修仕様表示 (A) ~ は原則左右対称・各階共通とする



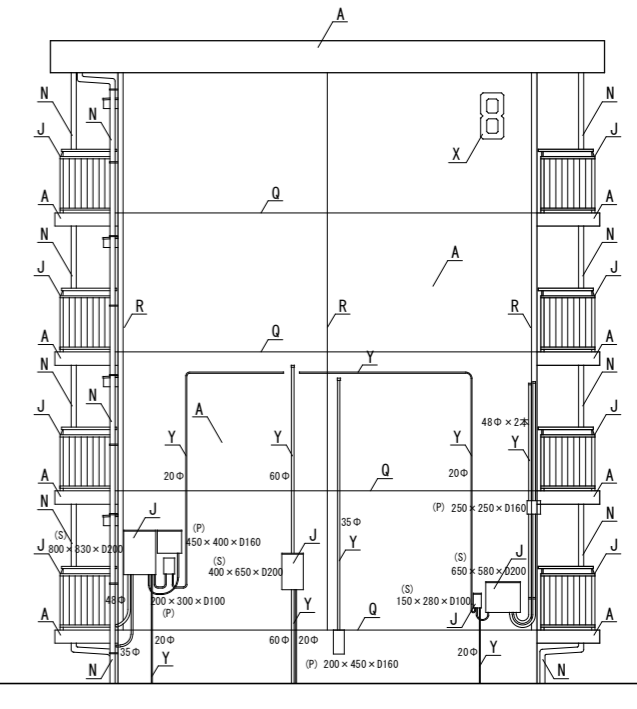
北面立面图 S=1/100



西面立面图 S=1/100



南面立面图 S=1/100



東面立面图 S=1/100

※改修仕様表示 A ~ は原則左右対称・各階共通とする

岡田設計

福山市郷分町628-6 TEL (084) 951-2728 一級建築士登録第218306号 岡田 秀仁

担当	岡田	A 2	100%	訂正
製図	2026. 3. 25	A 3	71%	
検図	2026. 3. 25			

特記

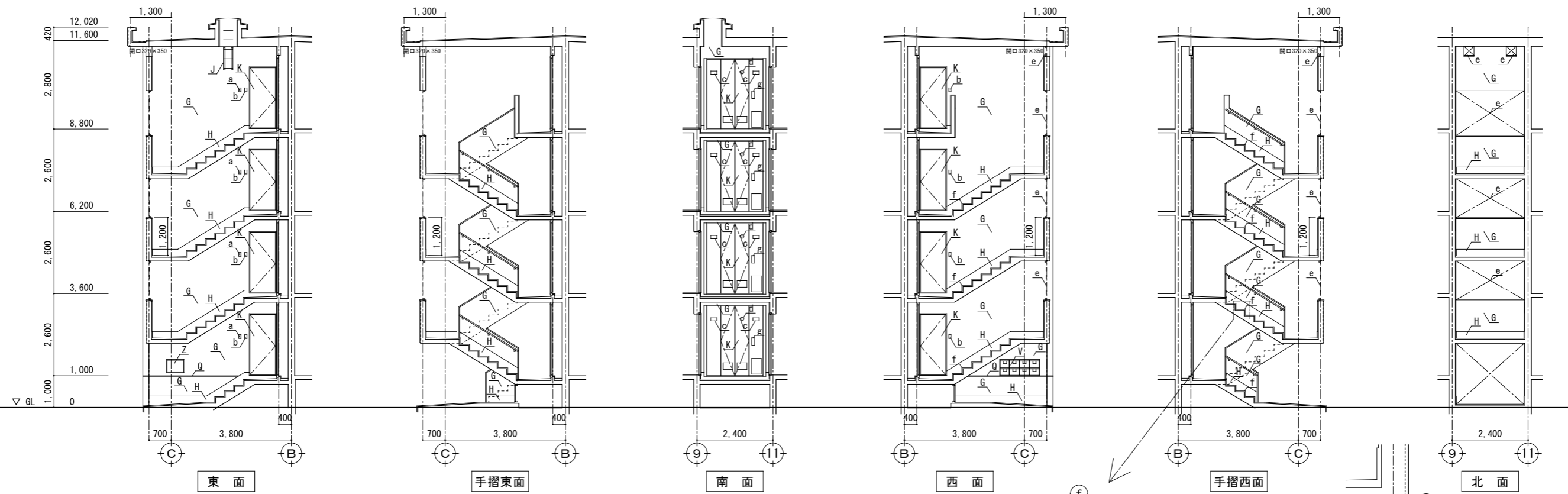
有実住宅8号棟外壁・ガス管改修工事

A-08

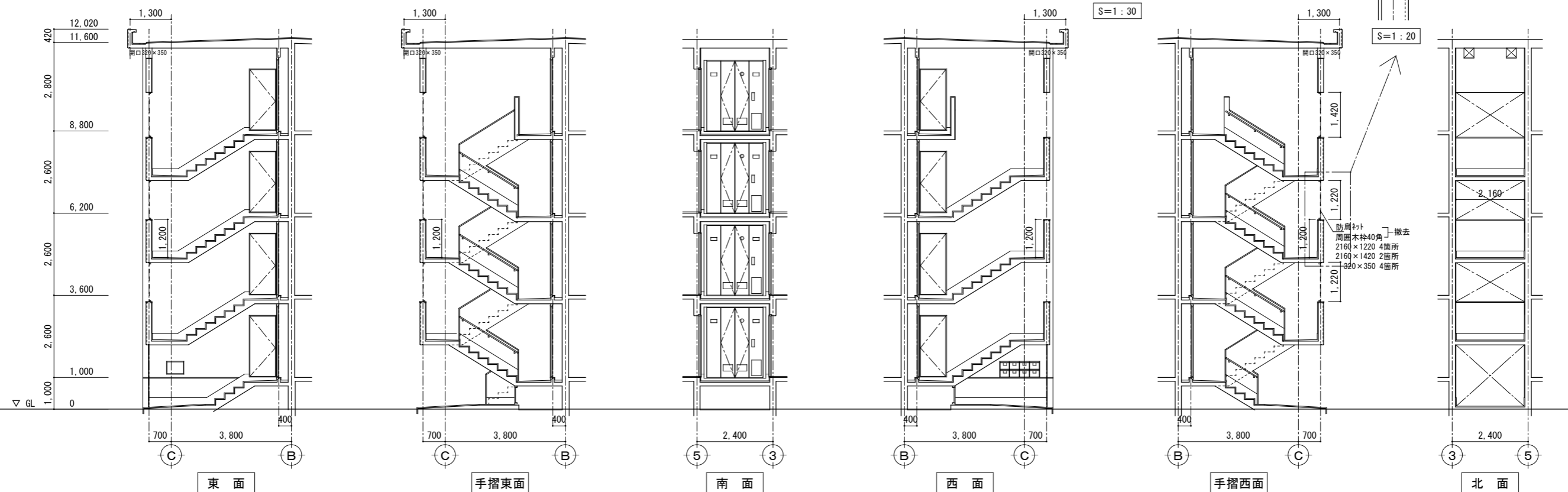
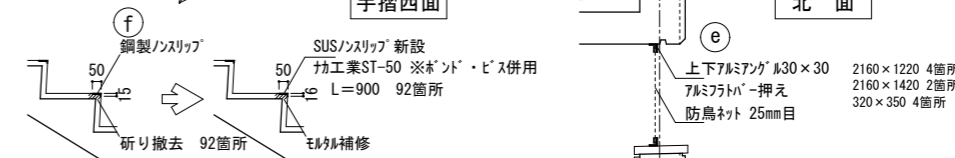
立面图 1

S=1/100

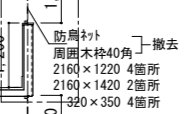
意匠



東階段立立面図 S=1/100



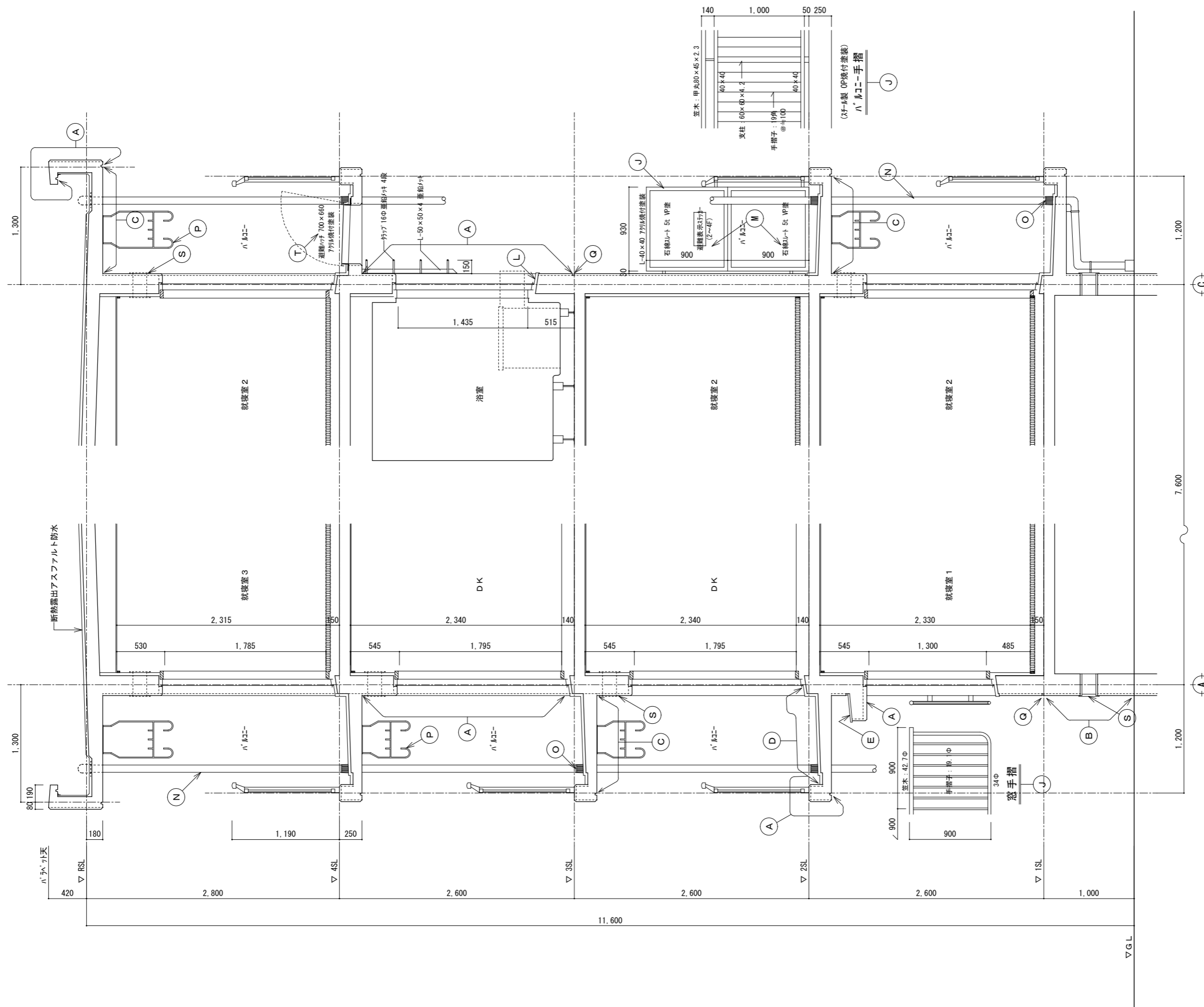
西階段立立面図 S=1/100



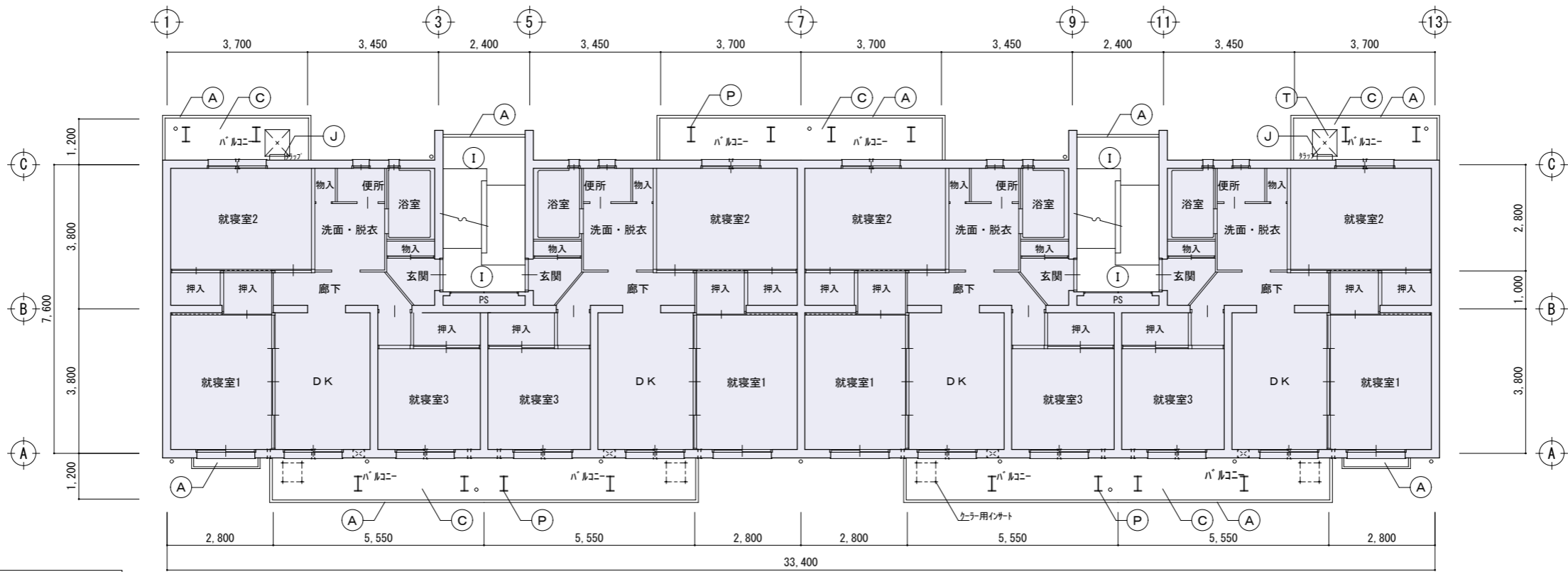
※改修仕様表示 A ~ は原則東・西階段共通とする

担当	岡田	A 2	100%	訂正
製図	2026.3.25	A 3	71%	
検図	2026.3.25			

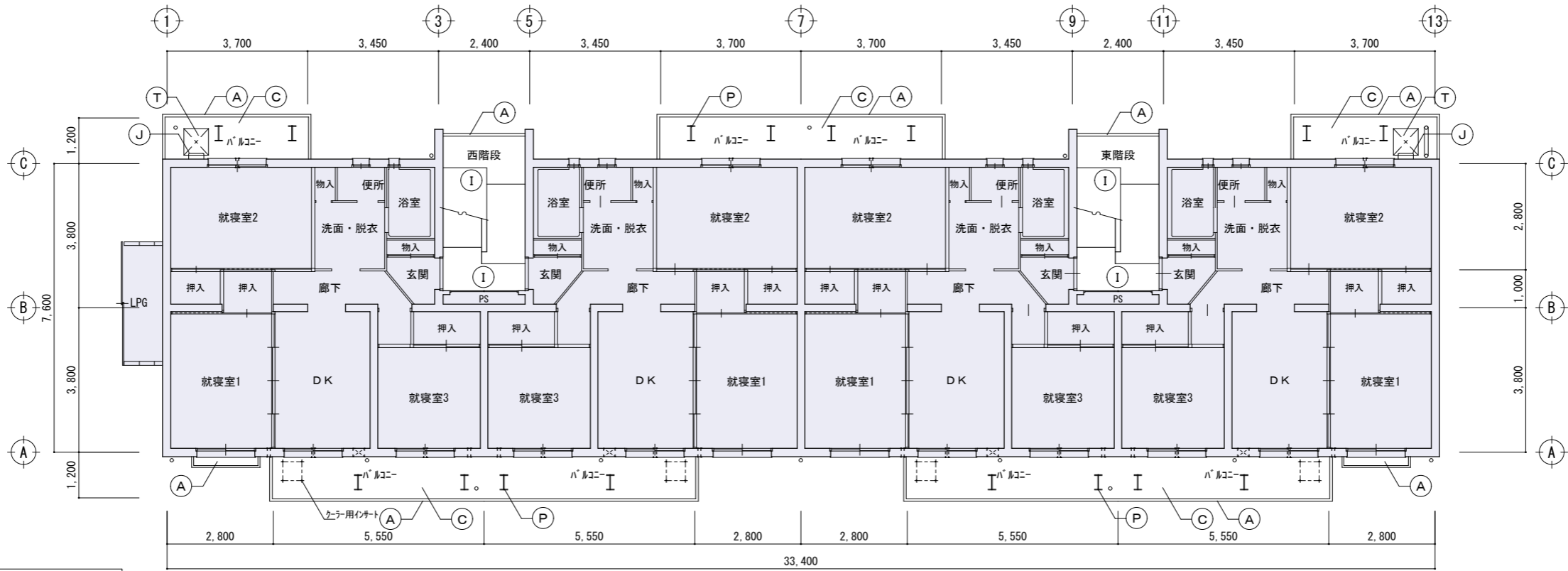
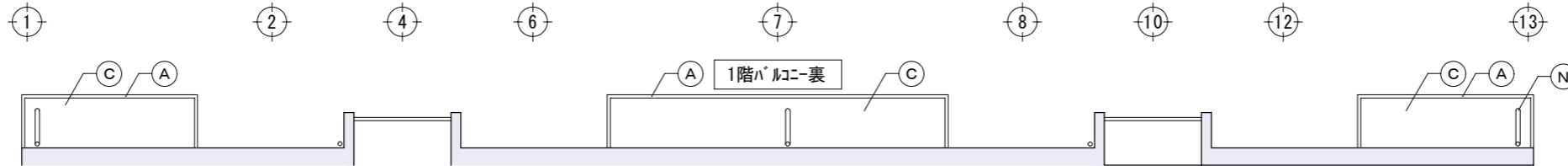
特記	
----	--



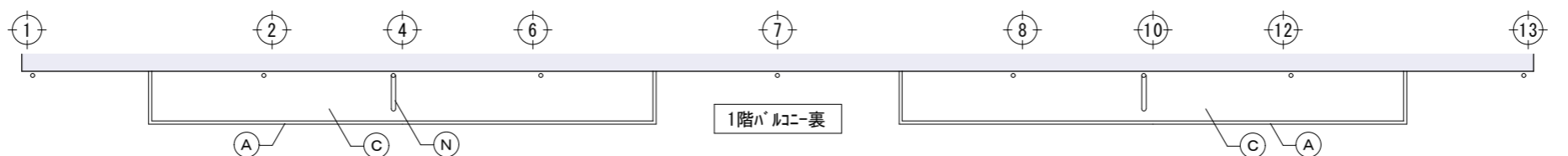
担当	岡田	A 2	100%
製図	2026.3.25	A 3	71%
検図	2026.3.25		

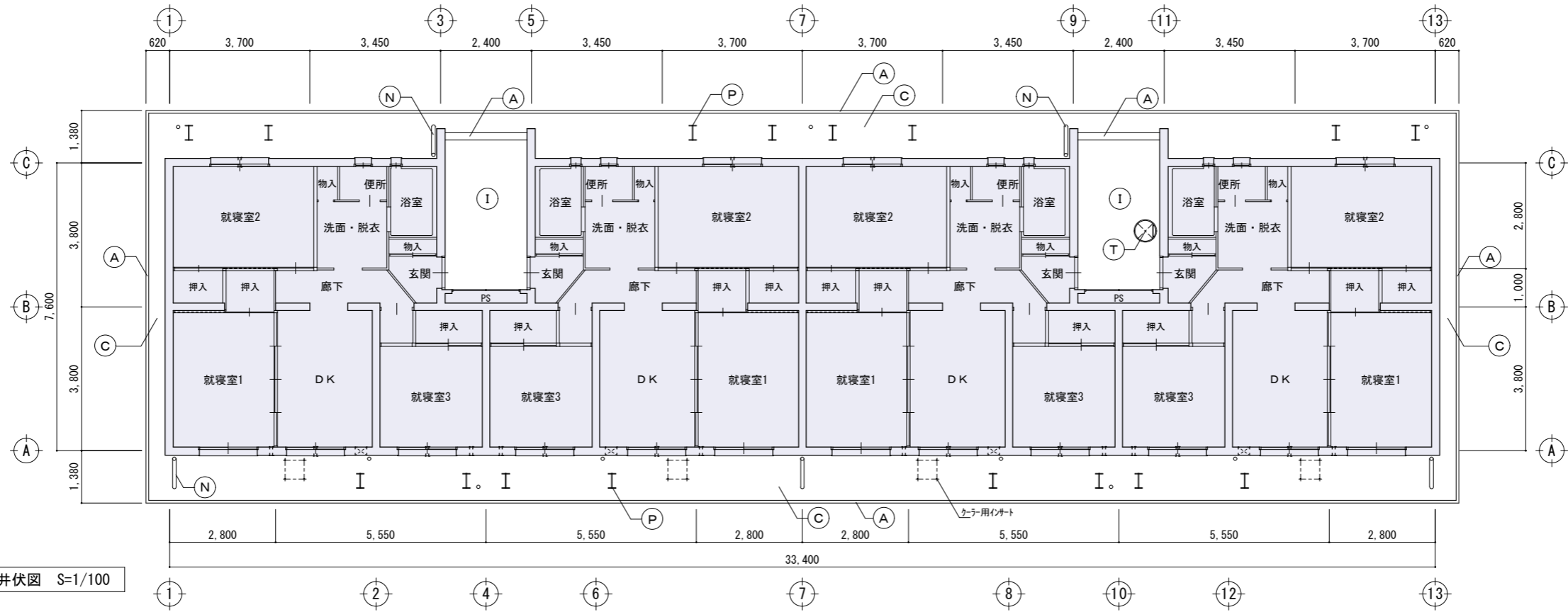
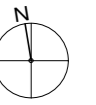


2階天井伏図 S=1/100

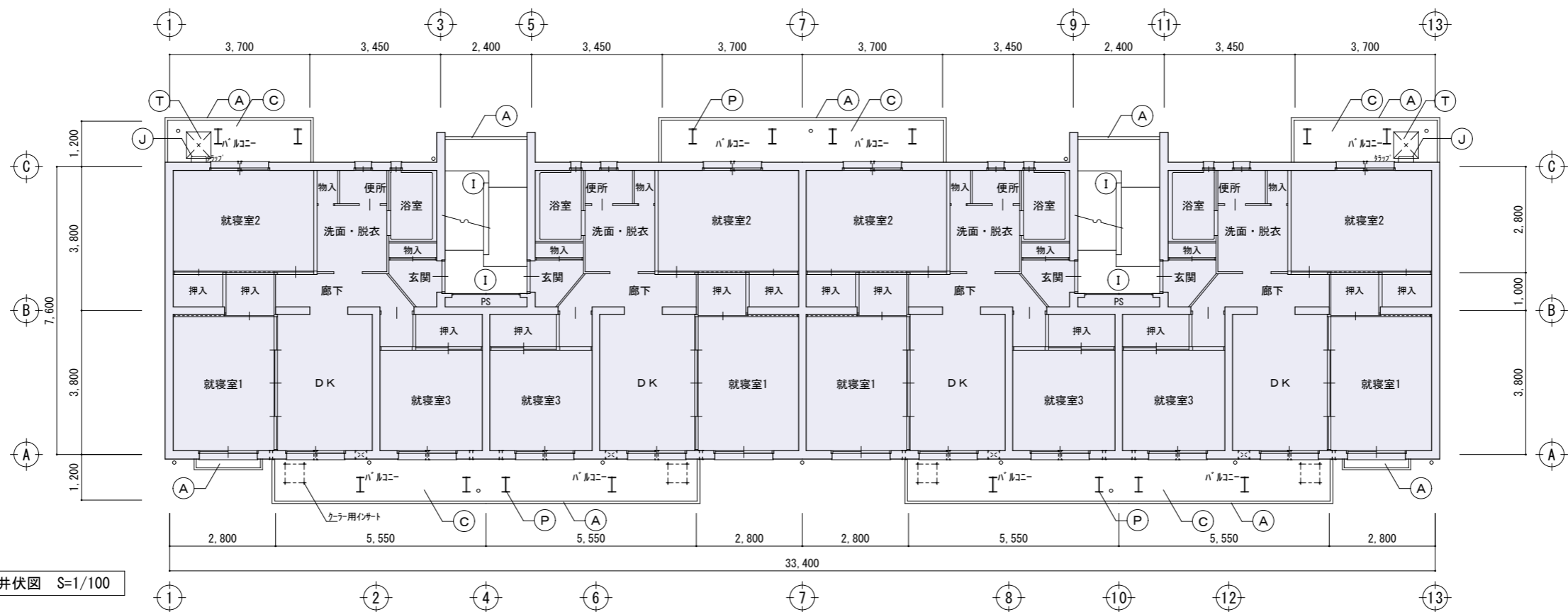


1階天井伏図 S=1/100



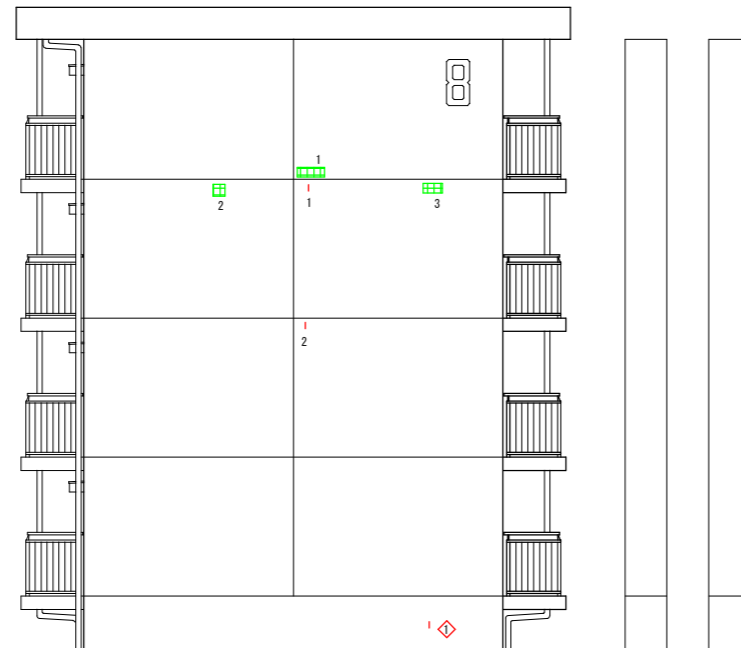
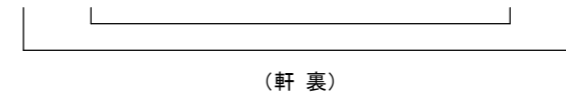
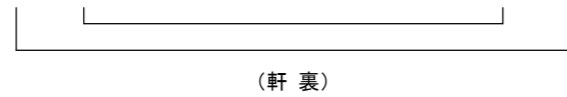


4階天井伏図 S=1/100



3階天井伏図 S=1/100

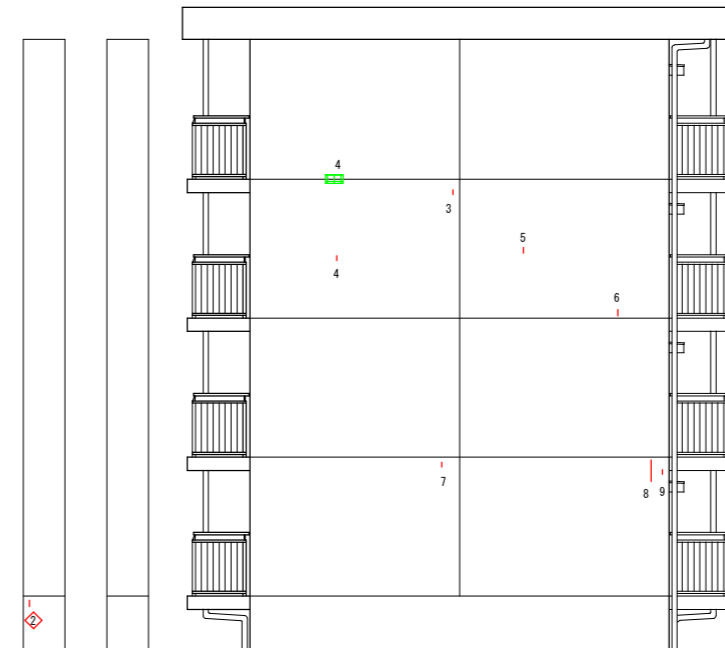
	A-1 表面劣化（打ち放し面）基礎
	B-2 ひび割れ（打ち放し）基礎
	C-1 錆鉄筋（打ち放し面）基礎
	A-1 表面劣化（打ち放し面）
	A-2 表面劣化（モルタル面）
	B-2 ひび割れ（打ち放し面）
	B-6 ひび割れ（モルタル面）
	C-1 錆鉄筋（打ち放し面）
	D-2 モルタル浮き（注入）一般部
	D-2 モルタル浮き（注入）換幅部
	E-1 欠損部（打ち放し面）



東側 西側

東面立面図 S=1/100

(東階段側面)



東側 西側

西面立面図 S=1/100

(西階段側面)

※1階廻り及び階段室のみの調査図であり全数調査したものではない(2階以上は1階から目視したもの)

岡田設計

福山市郷分町628-6 TEL(084)951-2728 一級建築士登録第218306号 岡田 秀仁

担当		A 2	100%
担当	岡田		
製図	2026. 3. 25	A 3	71%
検図	2026. 3. 25		

訂正	
特記	

有実住宅8号棟外壁・ガス管改修工事

A-13

調査結果図1(東・西立面)

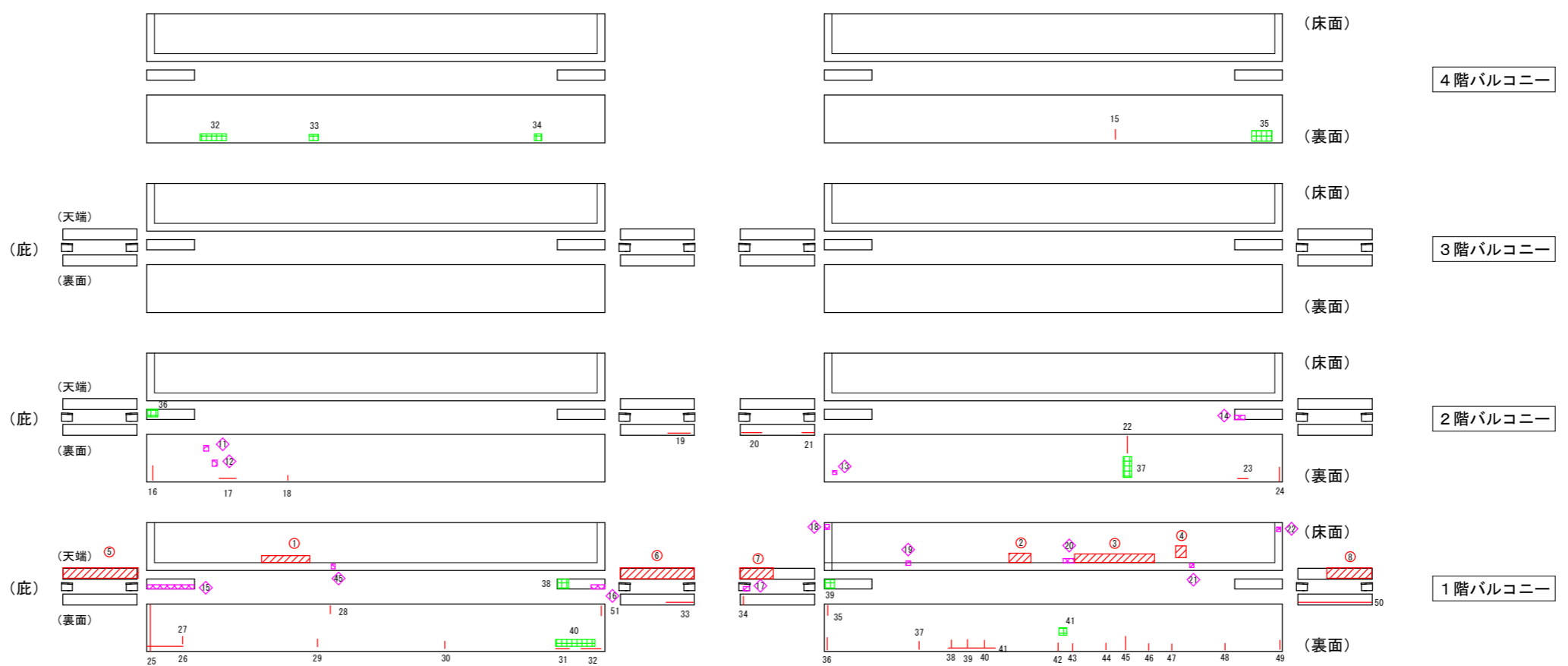
S=1/100

意匠

	A-1 表面劣化（打ち放し面）基礎
	B-2 ひび割れ（打ち放し）基礎
	C-1 錆鉄筋（打ち放し面）基礎
	A-1 表面劣化（打ち放し面）
	A-2 表面劣化（モルタル面）
	B-2 ひび割れ（打ち放し面）
	B-6 ひび割れ（モルタル面）
	C-1 錆鉄筋（打ち放し面）
	D-2 モルタル浮き（注入）一般部
	D-2 モルタル浮き（注入）換気部
	E-1 欠損部（打ち放し面）



(軒裏)

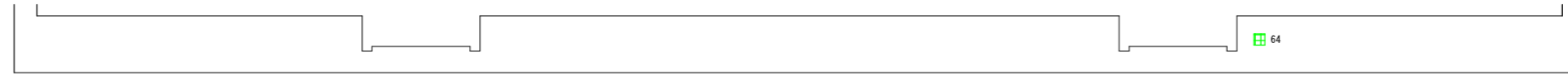


南面立面図 S=1/100

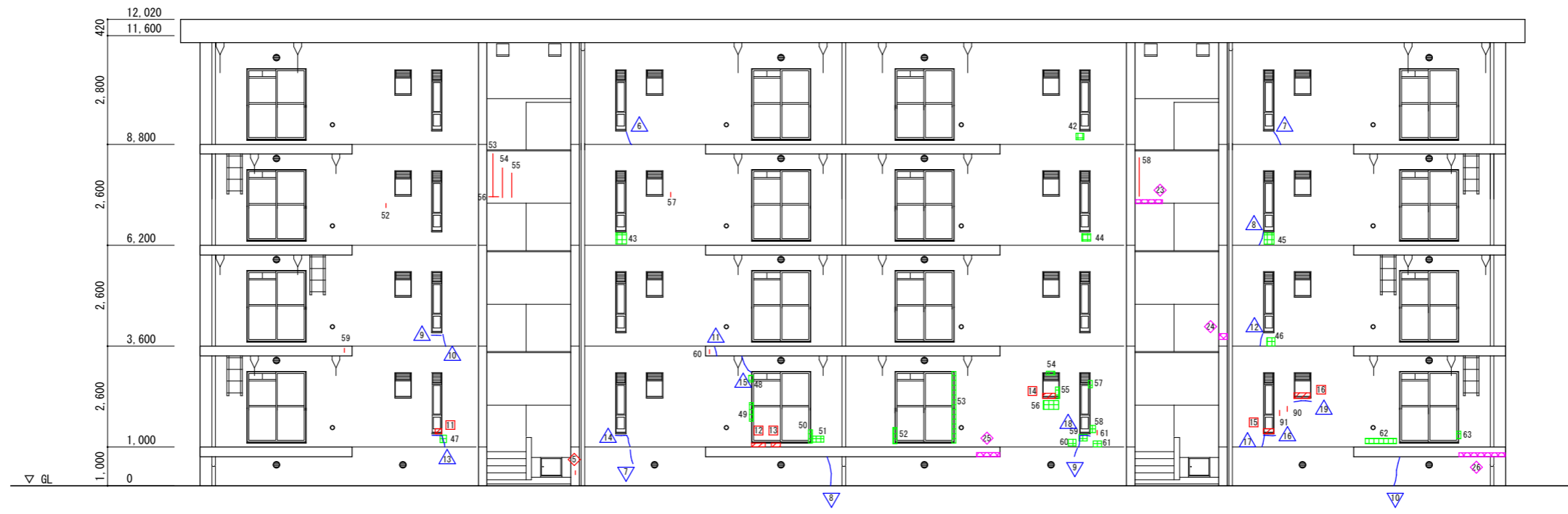
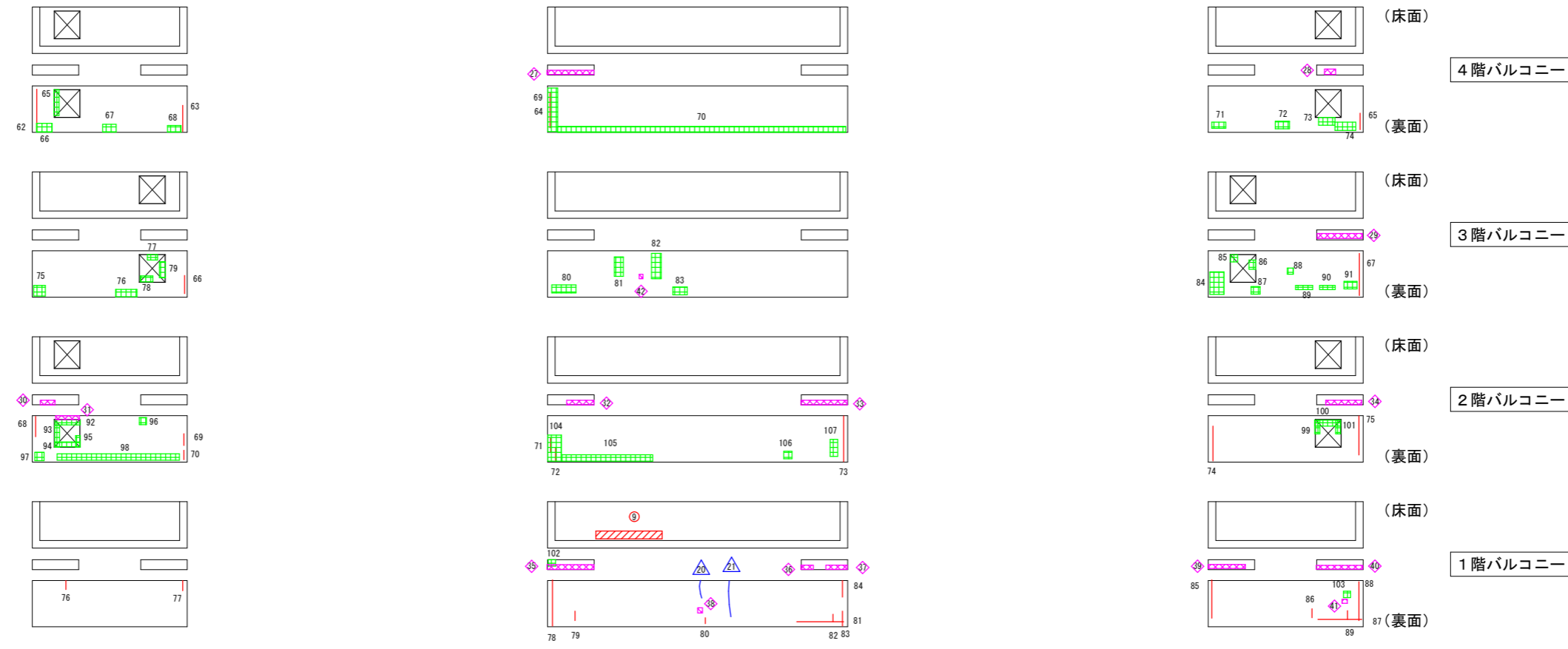
※1階廻り及び階段室のみの調査図であり全数調査したものではない（2階以上は1階から目視したもの）

 岡田設計 福山市郷分町628-6 TEL(084)951-2728 一級建築士登録第218306号 岡田 秀仁	担当 岡田 製図 2026.3.25 検図 2026.3.25	A 2 100% A 3 71%	訂正 特記	有実住宅8号棟外壁・ガス管改修工事 調査結果図2(南立面)	A-14 意匠
				S=1/100	

	A-1 表面劣化（打ち放し面）基礎
	B-2 ひび割れ（打ち放し）基礎
	C-1 錆鉄筋（打ち放し面）基礎
	A-1 表面劣化（打ち放し面）
	A-2 表面劣化（モルタル面）
	B-2 ひび割れ（打ち放し面）
	B-6 ひび割れ（モルタル面）
	C-1 錆鉄筋（打ち放し面）
	D-2 モルタル浮き（注入）一般部
	D-2 モルタル浮き（注入）換気部
	E-1 欠損部（打ち放し面）



(軒裏)

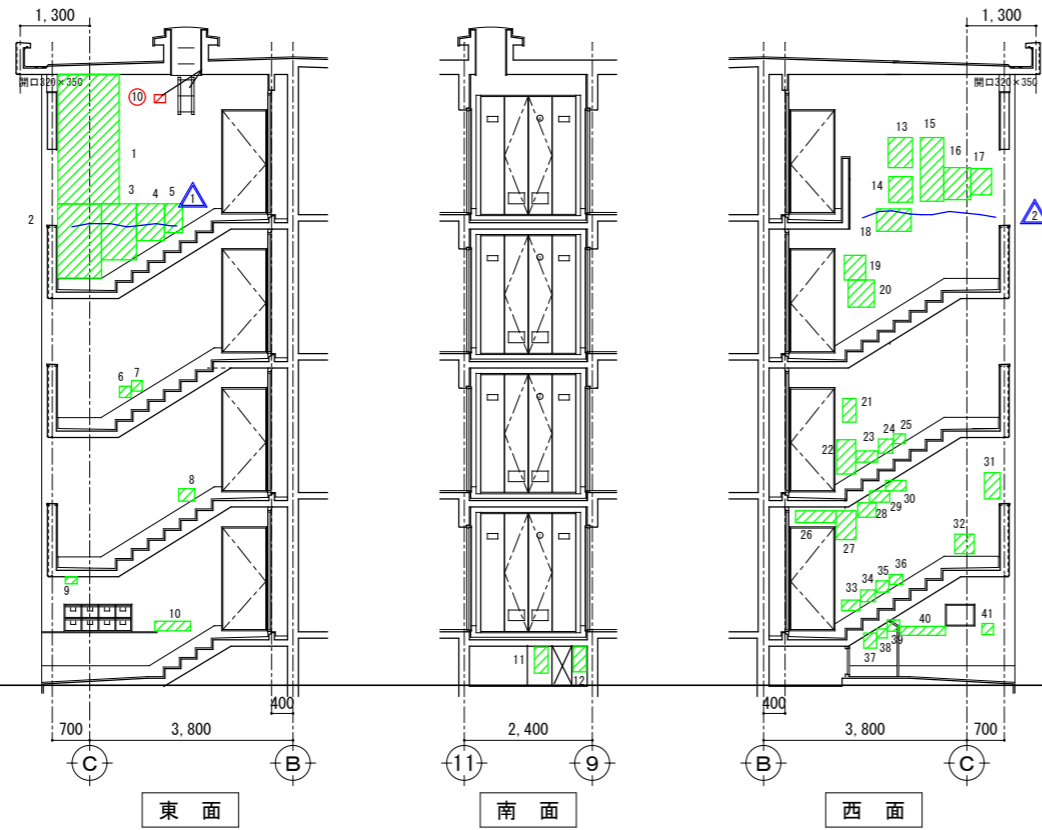


北面立面図 S=1/100

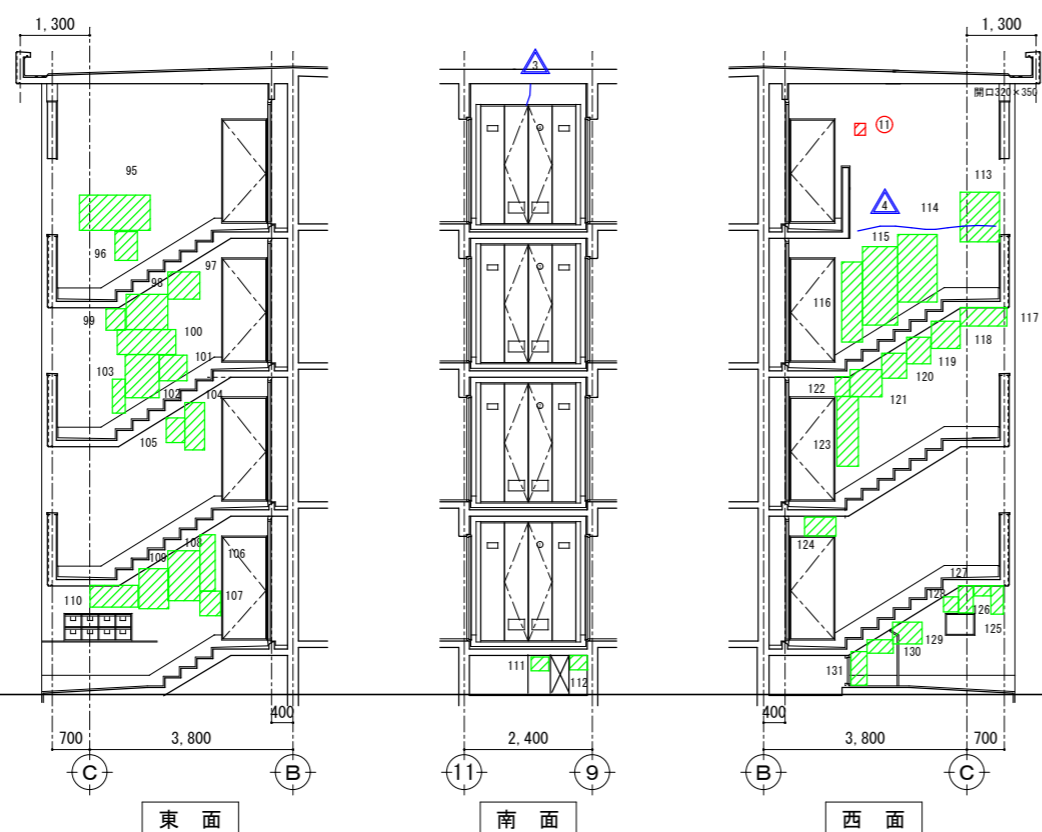
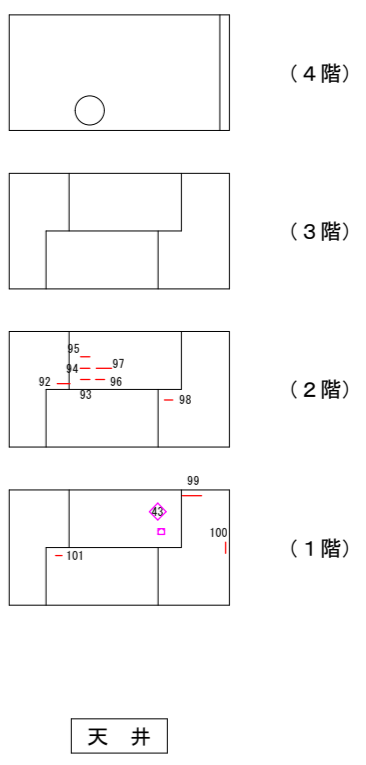
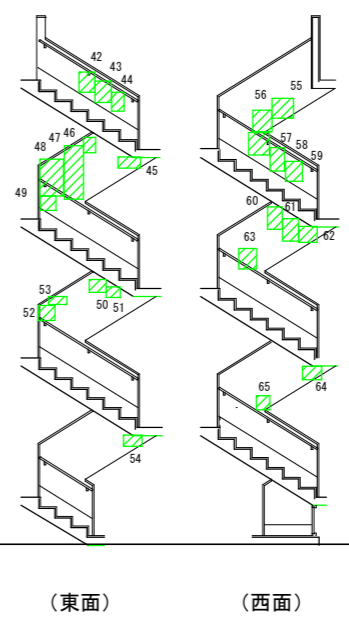
※1階廻り及び階段室のみの調査図であり全数調査したものではない（2階以上は1階から目視したもの）

 岡田設計 福山市郷分町628-6 TEL(084)951-2728 一級建築士登録第218306号 岡田 秀仁	担当 岡田	A 2	100%	訂正	特記	有実住宅 8号棟外壁・ガス管改修工事	A-15
	製図 2026. 3. 25 検図 2026. 3. 25	A 3	71%				

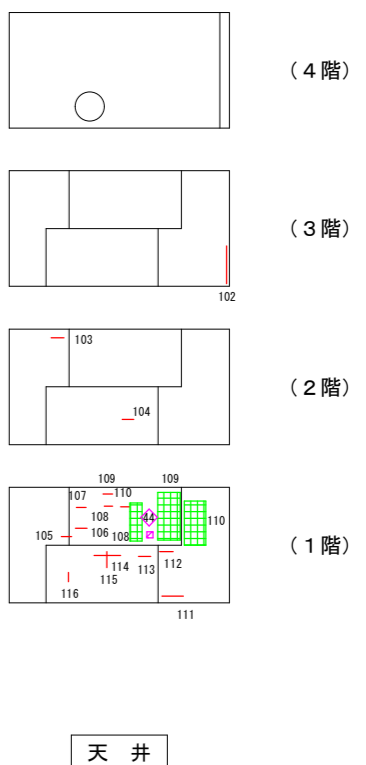
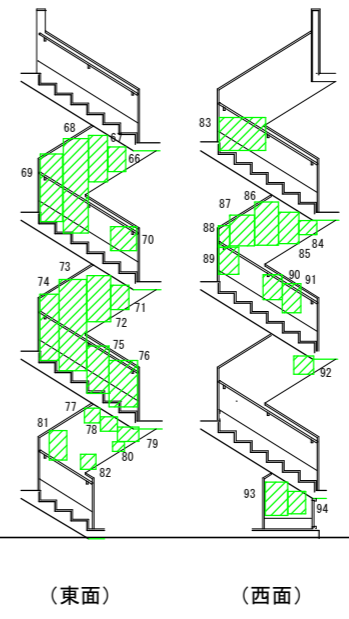
	A-1 表面劣化 (打ち放し面) 基礎
	B-2 ひび割れ (打ち放し) 基礎
	C-1 錆鉄筋 (打ち放し面) 基礎
	A-1 表面劣化 (打ち放し面)
	A-2 表面劣化 (モルタル面)
	B-2 ひび割れ (打ち放し面)
	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	C-1 錆鉄筋 (打ち放し面)
	D-2 モルタル浮き (注入) 一般部
	D-2 モルタル浮き (注入) 換気部
	E-1 欠損部 (打ち放し面)



東階段立面図 S=1/100



西階段立面図 S=1/100



※1階廻り及び階段室のみの調査図であり全数調査したものではない (2階以上は1階から目視したもの)

室名称	下地	床	印木	塗装	下地記号	壁	塗装	天井			備考	
								一般階	塗装	最上階		塗装
階段室	RC造 木造	防水モルタル	防水モルタル			モルタル	EP-1 (0-2塗)	コンクリート型枠打放し補修	EP-1 (0-2塗)	コンクリート型枠打放し補修	EP-1 (0-2塗)	7x21mm ² (鉄筋蓋 50mm) 階段手摺 モルタル下地 EP-1 (0-2塗) PS庫 (牛乳缶箱) 屋根下地モルタル 2x2mm ² → 車側階段室に1か所
玄関	RC造 木造	防水モルタル	防水モルタル	VP	C	202貼 (モルタル工法)		軽量骨材 吹付				
物入(玄関)	RC造 木造				MW	素地 (内)		FP-II 120				
廊下	RC造 木造		木製 H55 (内)	OSV	C	202貼 (モルタル工法)		軽量骨材 吹付				電気配管用予備 廊下へ食卓室 (電気設備工事)
洗面脱衣室	RC造 木造		木製 H55 (内)	OSV								BL-K型洗面器ユニット (設備工事) 洗濯パン (設備工事) 化粧箱 取付板 O.P.
便所	RC造 木造		木製 H55 (内)	OSV	RW	202貼						洋風便器 (設備工事) 紙巻器 (設備工事) 配管カバー
浴室	RC造 木造				FP-II 130	浴室ユニット		浴室ユニット		浴室ユニット		BL-K型浴室ユニット (2枚扉付き合凸) FP-II 0範囲 [Y1, X2 通気口設置あり]
物入	RC造 木造		硬質塩化ビニル製雜巾指 (内)		MW	素地 (内)		FP-II 120				棚 一段 合板 12 (内)
台所兼食堂	RC造 木造		木製 H55 (内)	OSV	C 一部M.P	202貼 (モルタル工法)	VP	軽量骨材 吹付				BL-K型洗面器 吊戸棚 (1307は設備工事) 湯沸器取付板 O.P. 7-1 換気扇 (鋼製→設備工事(電)) 換気扇 [E-343] 1.準給 Y1-X2 通気口設置あり 換気用 [E-206]
乾燥室	RC造 木造		管 音 (内) 管 音 (内) 一部 板2x3 (乾燥室2)		RW 一部PM P	202貼 (M下地 → 乾燥室1) 202貼		軽量骨材 吹付				設備機器用スリット (711-12-2-1) [E-206] 2.5-取付用 木製 O.P. [E-206] 電気ボックス 雑音 管 敷込表示 RW範囲 (Y0通り, X1通り, X2通り) 換気用 [E-206]
押入	RC造 木造		硬質塩化ビニル製雜巾指 (内)		一部MW	合板 125 (内) 素地 合板 140 (内)		合板 125 (内)		合板 125 (内)		MW範囲 (Y0通り, X2通り → 乾燥室2) (Y1通り, X2通り → 乾燥室3)
天袋	RC造 木造		硬質塩化ビニル製雜巾指 (内)		一部MW	合板 125 (内) 素地 合板 140 (内)		一部 FP-II 120				MW範囲 (Y0通り, X2通り → 乾燥室2) (Y1通り, X2通り → 乾燥室3)

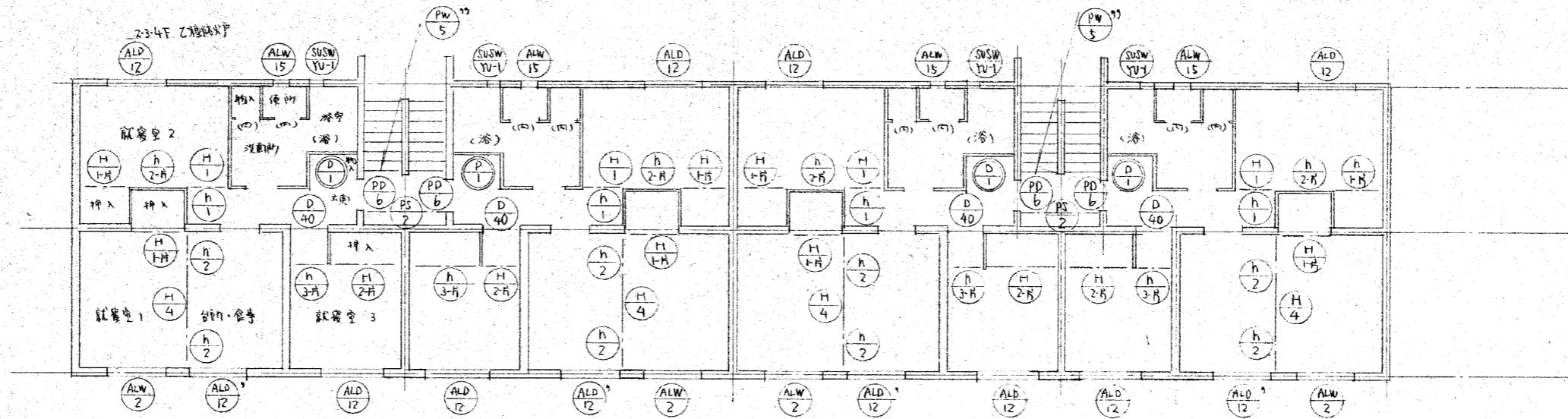
特記事項

1. 壁下地材料記号
 MW - 特殊D×20mm板 20+合板 125 直貼工法 (内)
 P - 合板 125 (内)
 C - コンクリート打放し補修
 M - モルタル IP-1 (30L/20mm) 25 (2枚組 40L/20mm) 25
 FP-II - 75-14mm² 20, 30
 RW - 特殊D×20mm板 20 直貼工法 (内)

2. 壁面仕上
 合板について: RC造の下地については(RC面打放し) 125
 木組造の下地については(木組打放し) 140
 を使用する。

3. 床面仕上
 IFのフローリング 15mm入りとする。

4. 天井仕上
 最上階のみ 2x4mm 30mm入りとする。



建具配置図 1/100

特記仕様事項

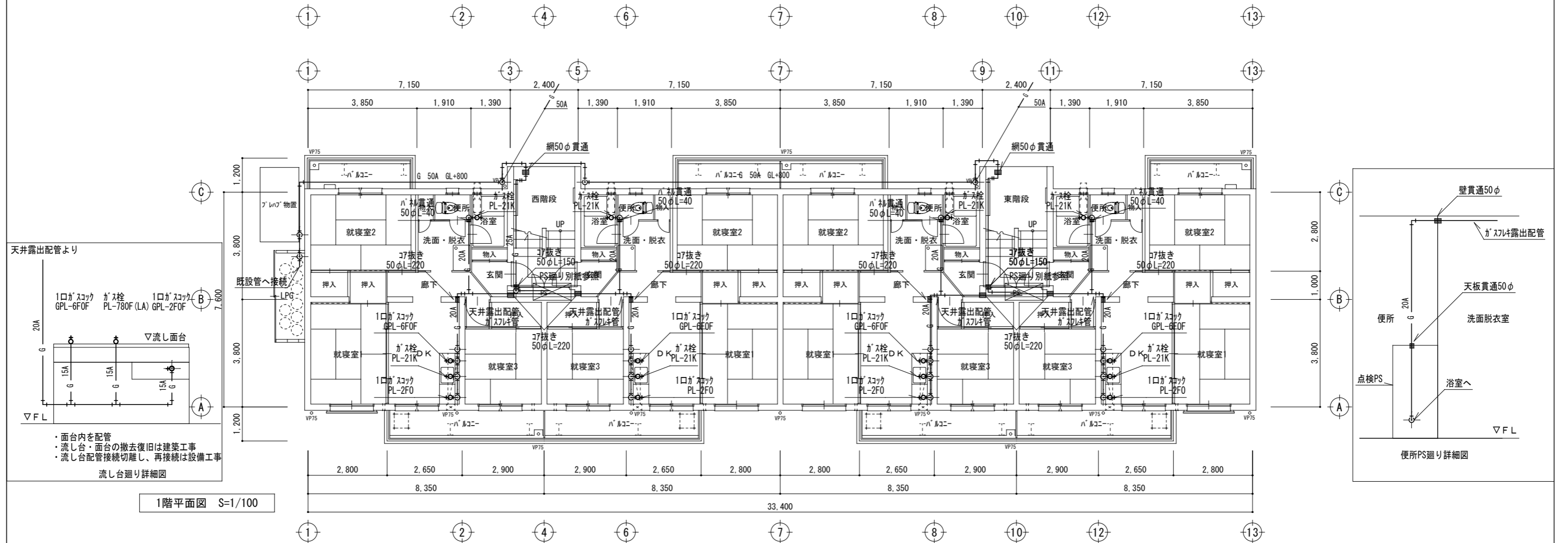
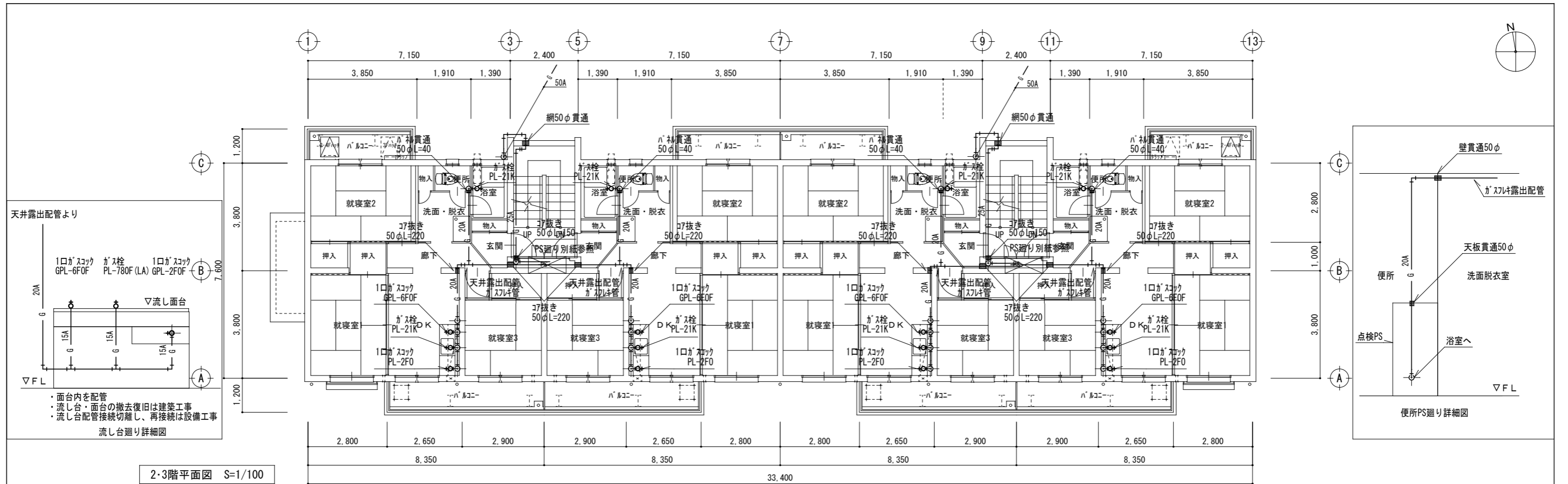
- は公共住宅標準設計図集第5版の番号を示す。●は標準設計図集にない建具を示す。
- 7スズメ仕様の白亜仕様の工芸仕様の建具。特別仕様は図集に示す。
 - ・重量50kg (公同指定品)を以て在来仕様の16・3・4表を標準とす。
 - ・周囲縁は木、または木目化粧板、仕上げはC種 (色付3層めがき)
 - ・上張は、各室共新島の子紙程度とす。(押入内片面は雲紙以上)
- アルミ引違窓の場合は、下記に示す。下記に示す連続の窓枠の取付方法については、仕様書とす。()内に記入
 - ・上段 トウメイガラス 3mm (組入トウメイガラス 6.8mm) ・小窓 トウメイガラス 5mm (組入トウメイガラス 6.8mm)
 - ・下段 透明ガラス 3mm (組入型ガラス 6.8mm)
- は同一地(2号住居)につき同一マスターキーを1本提出する。2号マスターキーの取扱いについては、工事中の使用を禁止する (マスターキーは鍵メーカーに直接納品に要する)
- 引違い窓はマニプル付とす
- はアルミ製鋼材付とす(×は鋼材付)

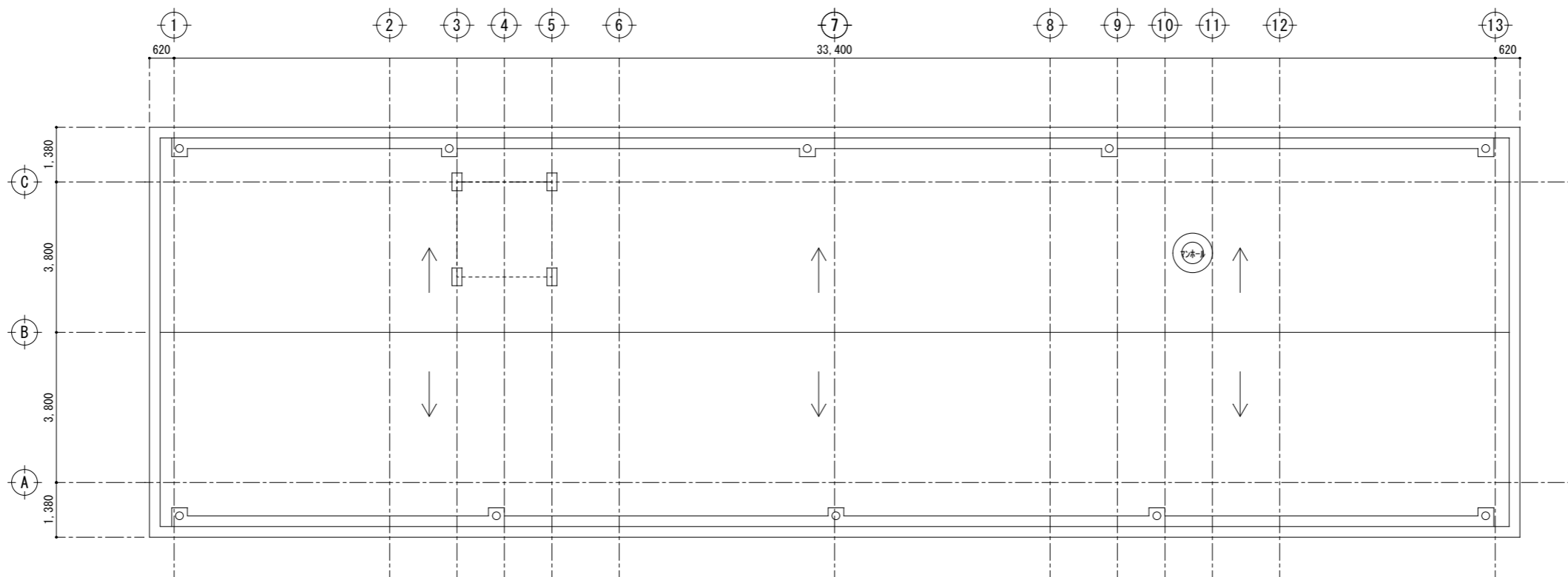
建具リスト

記号	PP 6	ALW 2	ALW 15	SUSW YU-1	ALD 12	ALD 12	ALW 2	ALW 15		
箇所	片開戸	BL-K	片開戸	上内側開動付引違い窓、下内側開動付引違い窓	アルミ引違戸	BL-K	アルミ引違戸	BL-K	アルミ内側窓	BL-K
形状										
材質	スチール			上 SUS304 中組入型板 7.8mm						
硝子						全 左			型柄ガラス 4.0mm	無段アルミ製 防虫網
塗装	F-101-a に準ずる				F-151-AL に準ずる		F-161-AL に準ずる		F-171-AL に準ずる	
金物	F-101-a				F-151-AL に準ずる		F-161-AL に準ずる		F-171-AL に準ずる	
備考	(中種付) ドア-10-1-2 BL II型			BL-K 溶接ニール付 BF 溶接窓 (A171製)					額縁取付 2.1mm	両面可能

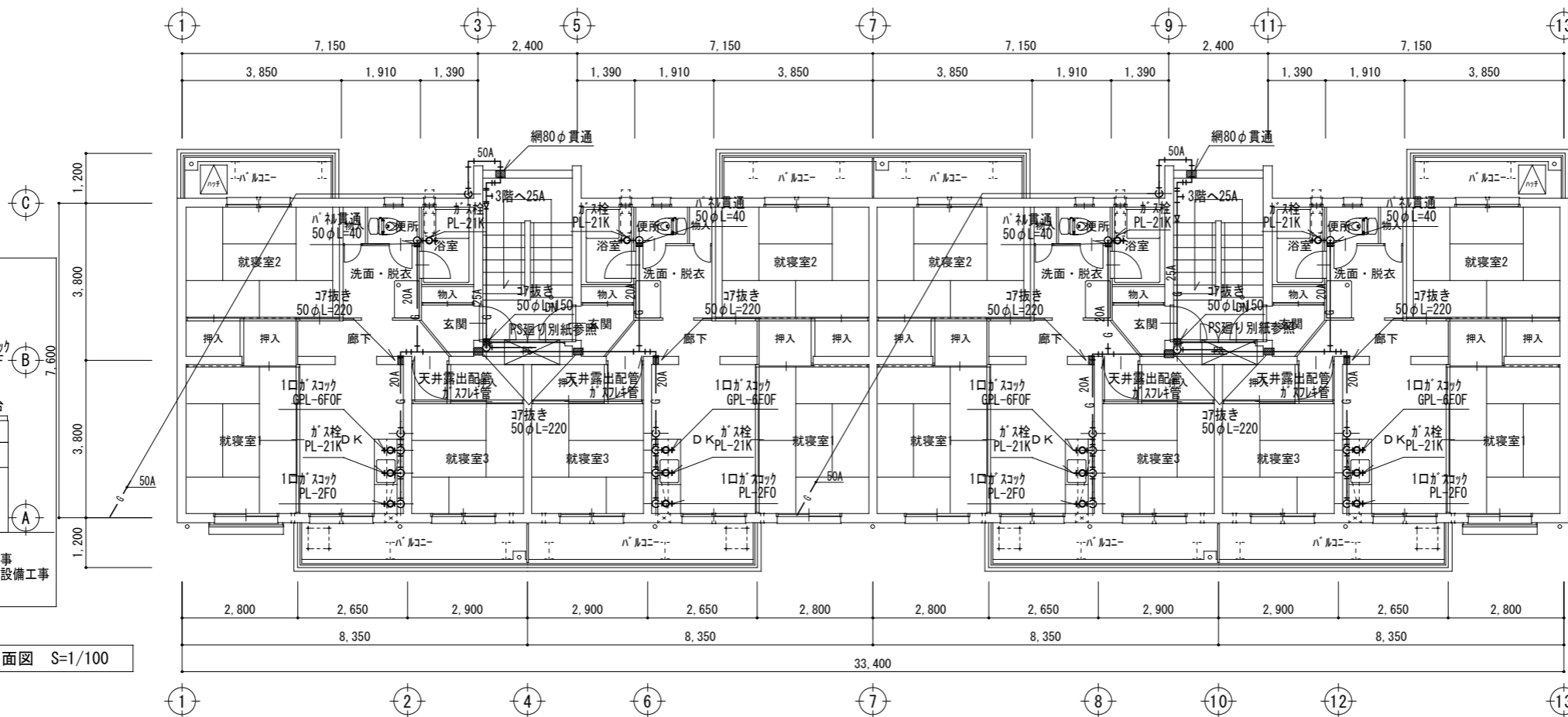
記号	①PW 5	②PS 2	③h 2h	④h 2	⑤h 3h	⑥h 4
箇所	片開戸 浴設置開口1700	バリアシャフトⅡ型 各階階段室に1700	引違天袋用722 1700/P	引違623用722 2700/P	引違天袋用722 1700/P	引違722 1700/P
形状						
材質	スチール					
硝子						
塗装	F-105 に準ずる	全左	F-320 に準ずる	全左	F-330 に準ずる	F-310 に準ずる
金物	F-105 に準ずる 引違バネ付(組付)		F-320 に準ずる		F-330 に準ずる	F-310 に準ずる
備考						
記号	①H 1h	②H 2h	③H 1h	④h 1	⑤P 40	⑥D 1
箇所	片引722 2700/P	引違722 1700/P	片引722 1700/P	片引623用722 1700/P	木製722用片開戸 1700/P	木製722用引違戸 1700/P
形状						
材質					両面化粧合板3% (額付)	玄関側 木製 化粧合板2% 合板T=2% 化粧
硝子					平板アクリル樹脂板5%	
塗装	F-301 に準ずる	全左	全左	F-320 に準ずる	F-240 に準ずる	
金物	F-301 に準ずる			F-320 に準ずる	F-240 に準ずる 把手LL-OKJ(約0.4)	引違 平平車
備考					見込33	見込20
記号	(内) 物入 木製722用片開戸	(内) 便所 木製722用片開戸	(浴) 722用片開戸			
箇所	1700/P	1700/P	1700/P			
形状						
材質	化粧合板4% 722合板4%	両面化粧合板4%				
硝子						
塗装						
金物	引違バネ 把手 LL-OKJ (約0.4)	把手 LL-OKJ (約0.4) 引違バネ (約0.4)				
備考	内装バネに含む	内装バネに含む	BL-K 銀窓仕様 化粧掛付 浴室工に含む			

① 設計用温湿度条件	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="2">室内(調整目標値)</th> </tr> <tr> <th>温度(DB)</th> <th>湿度</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <td>夏季 34.9℃</td> <td>51.0%</td> <td>28.0℃</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>冬季 -0.2℃</td> <td>69.9%</td> <td>19.0℃</td> <td>40%</td> </tr> </table>	外気条件		室内(調整目標値)		温度(DB)	湿度	温度(DB)	湿度	夏季 34.9℃	51.0%	28.0℃	50%	冬季 -0.2℃	69.9%	19.0℃	40%
外気条件		室内(調整目標値)															
温度(DB)	湿度	温度(DB)	湿度														
夏季 34.9℃	51.0%	28.0℃	50%														
冬季 -0.2℃	69.9%	19.0℃	40%														
② 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	<p>1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管)</p> <p>2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管)</p> <p>3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白管)</p> <p>4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管(黒管)</p> <p>5) 蒸気送水 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG70Sch40)</p> <p>6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼鋼管(黒管)</p> <p>7) 冷媒 ○ 断熱材被覆鋼管</p> <p>8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>9) 空調用排水 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管</p> <p>図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。</p> <p>トラップの形式はフロートボール式(床置型) ※FRP製保温型</p> <p>1) 厚さ ※3.2mm ・ 4.5mm</p> <p>2) はい煙濃度計 ・ 取付けなし ・ 取付けなし</p> <p>3) はいじん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けなし</p> <p>4) 伸縮継手及び排除口は図示による。</p> <p>投光器及び受光器は、送風器付きとする。</p> <p>標準型、低音型音、超低音型音の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。</p> <p>コイル通過後のケーシングに講じる表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。</p> <p>風量30.000m³/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。</p> <p>9) 空調水管の接続部(往・還)にはボール弁を付ける。</p> <p>※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ・ 取付けなし</p> <p>(定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形)</p> <p>床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。</p> <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>内外送配線は、原則として冷媒管と共通とする。(エアコン含む)</p> <p>パッケージ形空調機</p> <p>11. マルチパッケージ形空調機</p> <p>⑫ 集中管理リモコン ・ 個別リモコン</p> <p>集中管理リモコンの機能は、</p> <p>※ 標準仕様書に記載されている機能</p> <p>・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能</p> <p>・ エネルギーマンの管理に関する機能(外部記憶媒体への出力機能含む)</p> <p>リモコンの系統区分は図示による。</p> <p>13. 空気清浄装置</p> <p>形式 ※ 渦流形 ・ 筒車形</p> <p>本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>鉄製はしご ※ 要 ・ 不要</p> <p>16. 地下オイルタンク</p> <p>1) 掘付け方法は ※ 標準図(施工32)(二重設タンク)</p> <p>・ 標準図(施工33)(タンク室内)</p> <p>2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト</p> <p>3) 遠隔油量指示装置(液面計は(・ 抵抗変位式 ・ 磁歪式)で(・ 屋内 ・ 屋外)より油面監視用)を付ける。</p> <p>4) 基礎杭は ※ 不要</p> <p>・ 要(但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事)</p> <p>5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要(・ 本工事 ・ 別途工事)</p> <p>油面計はゲージ式(側圧式)とする。</p> <p>1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧ダクト ・ 高圧2ダクト</p> <p>2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法(共板フランジ又はスライドオンフランジ)(ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする)</p> <p>・ アングルフランジ工法</p> <p>3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。</p> <p>4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。</p> <p>1) シーリングディフューザーの接続は標準図(施工49)を参考とする。</p> <p>2) 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。</p> <p>※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製</p> <p>20. 吹出口・吸込口のボックス</p> <p>21. グリス除去装置</p> <p>22. 風量測定口</p> <p>23. 温度計</p> <p>標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。</p> <p>1) 空調機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計 ・ ガード付き形温度計</p> <p>24. 圧力計</p> <p>⑮ ダンパー</p> <p>標準図によるほか図示した箇所に取付ける。</p> <p>(1) 防火ダンパーは表示等により区分する。</p> <p>(2) 防煙ダンパー 遠隔復帰式(定格入力はDC24V、0.7A以下)。</p> <p>・ メカニカル形 ・ 風速センサー形</p> <p>26. 定風量・変風量ユニット</p> <p>27. 冷温水管等のエア抜き</p> <p>1) エア漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置(※ 手動 ・ 自動)を設ける。</p> <p>2) 自動エア抜き弁装置は、標準図(施工38(g))による。</p> <p>3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。</p>																
28. 消音内貼り	<p>1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。</p> <p>2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。</p> <p>防振基礎の防振材及び振動絶縁部材は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。</p> <p>日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器用水質ガイドライン)による。</p> <p>⑪ フィルター等予備品</p> <p>空気調和機器等又は7(材+材)の装着枚数の100%を予備品(特付)として納める。7(材)は総枚数の(・ 50% ○ 100%)に当たる7(材)を予備品(特付)として納める。</p> <p>自動巻取り形及びグリッスフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。</p>																
29. 機器用基礎	<p>※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製(厚1.6mm)</p> <p>・ パネル形 (・ 天井取付 ・ 壁取付)</p> <p>・ スリット形 (・ 天井取付 ・ 壁取付)</p> <p>・ ダンパー形 (・ 天井取付)</p> <p>電気式(遠隔操作) ※ 不要 ・ 要</p> <p>排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1.1による耐熱・耐火ケーブルとする。</p>																
30. 空調用流体の水質基準	<p>建築設備定期検査業務基準書2016年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。</p>																
① 配管材料	<p>※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>② 弁類</p> <p>③ 保温</p>																
1. ダクト	<p>1) 屋内汚水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</p> <p>(第1層まで含む)</p> <p>○ 硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)</p> <p>・ 耐火二層管</p> <p>2) 屋内雑排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</p> <p>・ 耐火二層管</p> <p>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>3) 通気管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</p> <p>・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)</p>																
1. 一般事項	<p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <p>大便器、小便器には、標記板(アクリル板に印刷可)を取付ける。</p> <p>形式は(※ 小便器一体型 ・ 小便器分離型)とする。</p> <p>洗浄水量4リットル/回以下とする。</p> <p>※ 個別告知方式(※ AC電源 ・ 乾電池) ・ 手動式</p> <p>電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池</p> <p>肢体不自由者用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、</p> <p>※ 設ける ・ 設けず</p> <p>操作方式 ○ 電気開閉式(・ センサー式 ○ タッチスイッチ式) ・ 手動式</p> <p>洗浄水加熱方式は(○ 瞬間方式 ○ 貯湯方式)とし、付加機能は図示による。</p> <p>※ 標準図(施工65) ・ 標準図(施工66)</p> <p>○ 水栓は節水コマ付きを採用する。 ・ 水栓ハンドルは極力レバー式を採用する。</p>																
2. 小便器用節水装置	<p>1) 都市ガス設備</p> <p>② 配管材料</p> <p>※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>2) 液化石油ガス</p> <p>3) ガス漏れ警報器</p> <p>※ 不要</p> <p>・ 要(取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要)</p> <p>警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。</p> <p>・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本</p> <p>※ 借用 ・ 買取り</p> <p>・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____ kg</p> <p>・ 借用 ※ 買取り</p> <p>1) 親メーターはガス供給事業者より借用とする。</p> <p>2) 子メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>3) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
3. 自動水栓	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
4. 大便器用洗浄弁	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
5. 温水洗浄便座	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
6. 器具と排水管接続水栓	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
7. 器具と排水管接続水栓	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
8. 器具と排水管接続水栓	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
9. 器具と排水管接続水栓	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
10. タンク	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
① 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
② 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
③ 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
④ 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
⑤ 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
⑥ 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
⑦ 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
⑧ 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
⑨ 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
⑩ 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けず)ものとする。</p> <p>2槽の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がつか、散水栓がつか等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>																
⑪ 引込納付金等	<p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>2) 子メーター ・ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は、湿式70φ式 ・ 乾式70φ式</p> <p>遠隔表示式は(・ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ・ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70</p>																

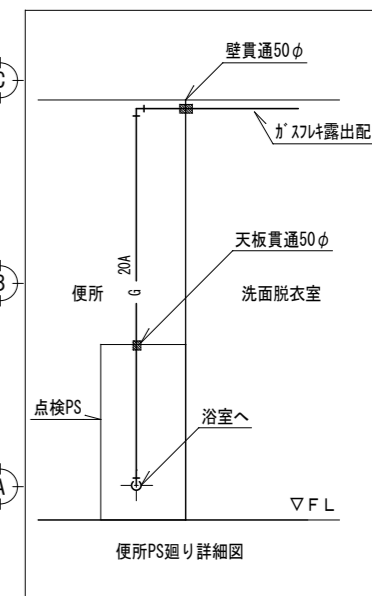
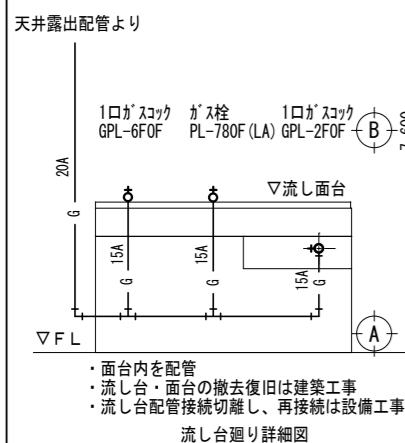


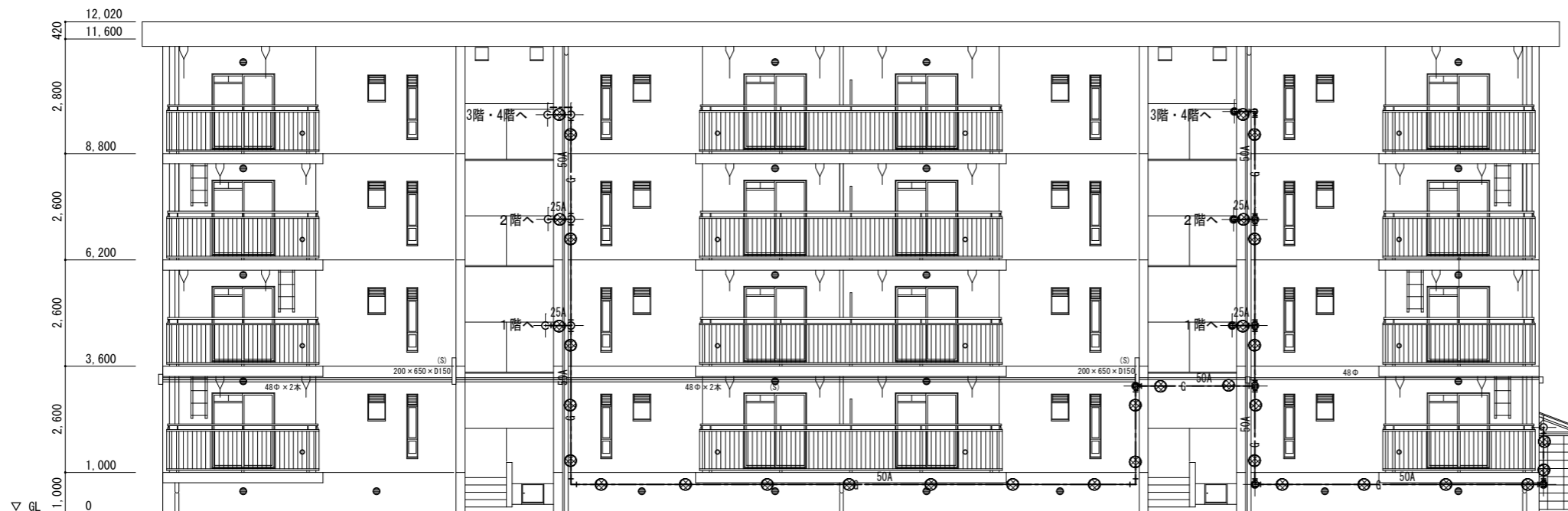


屋根平面図 S=1/100

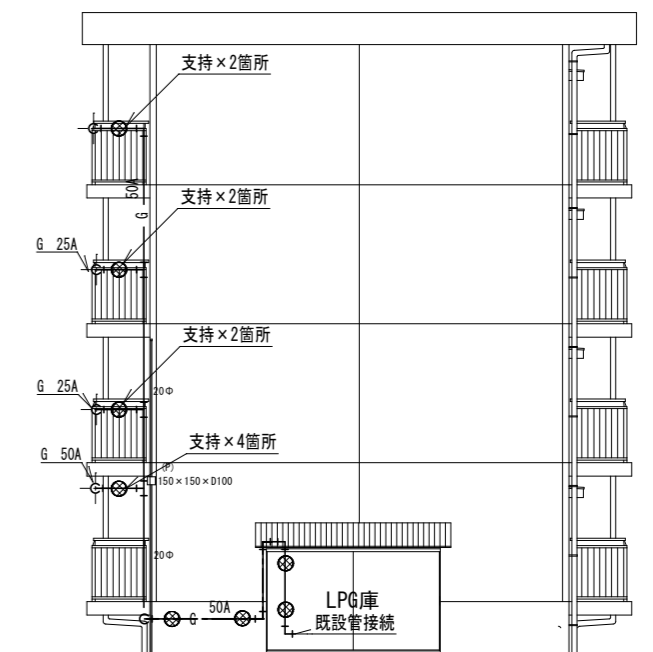


4階平面図 S=1/100

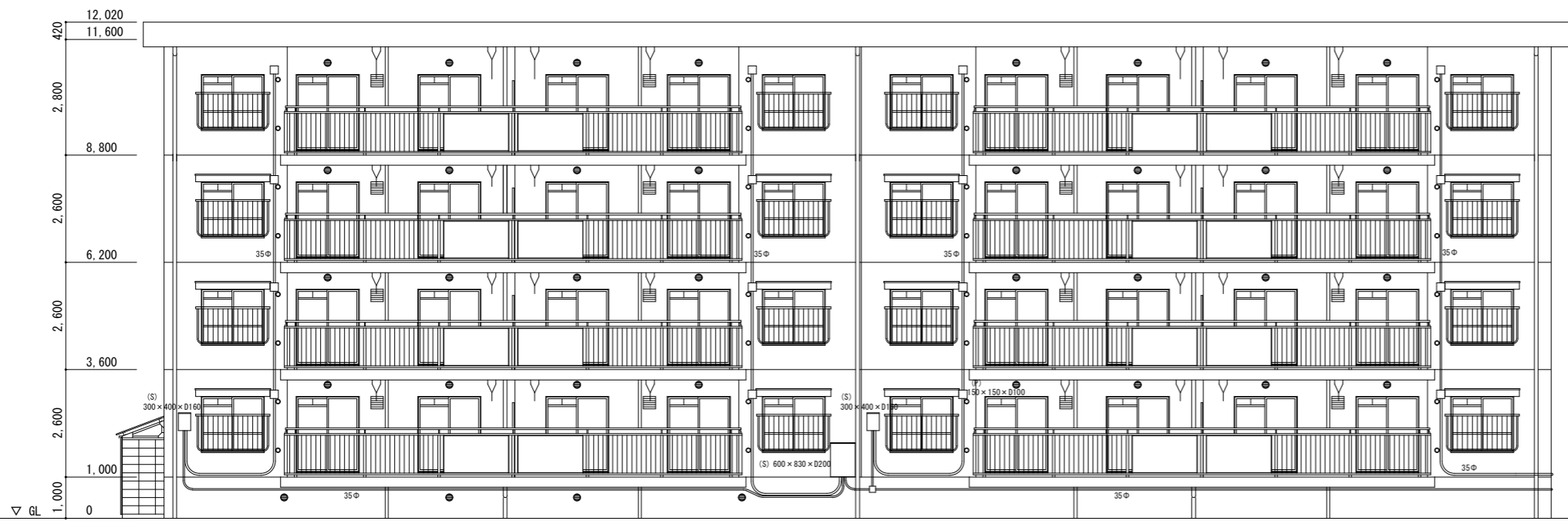
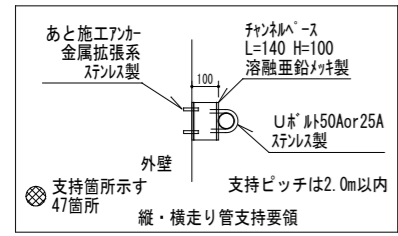




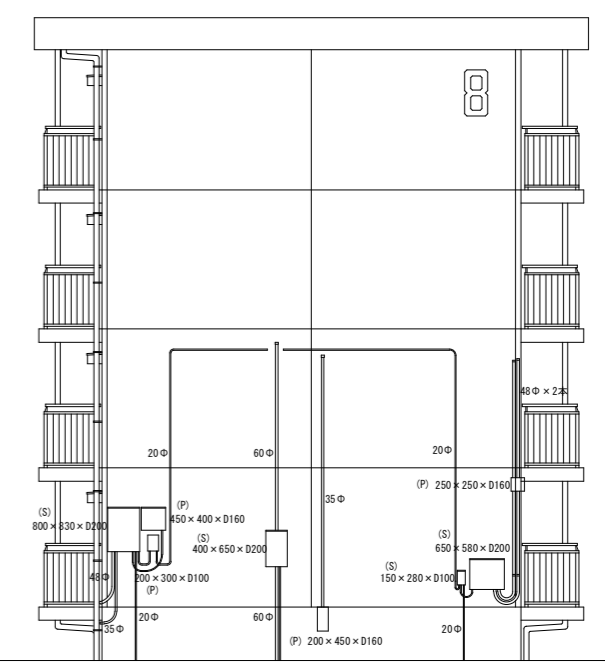
北面立面図 S=1/100



西面立面図 S=1/100

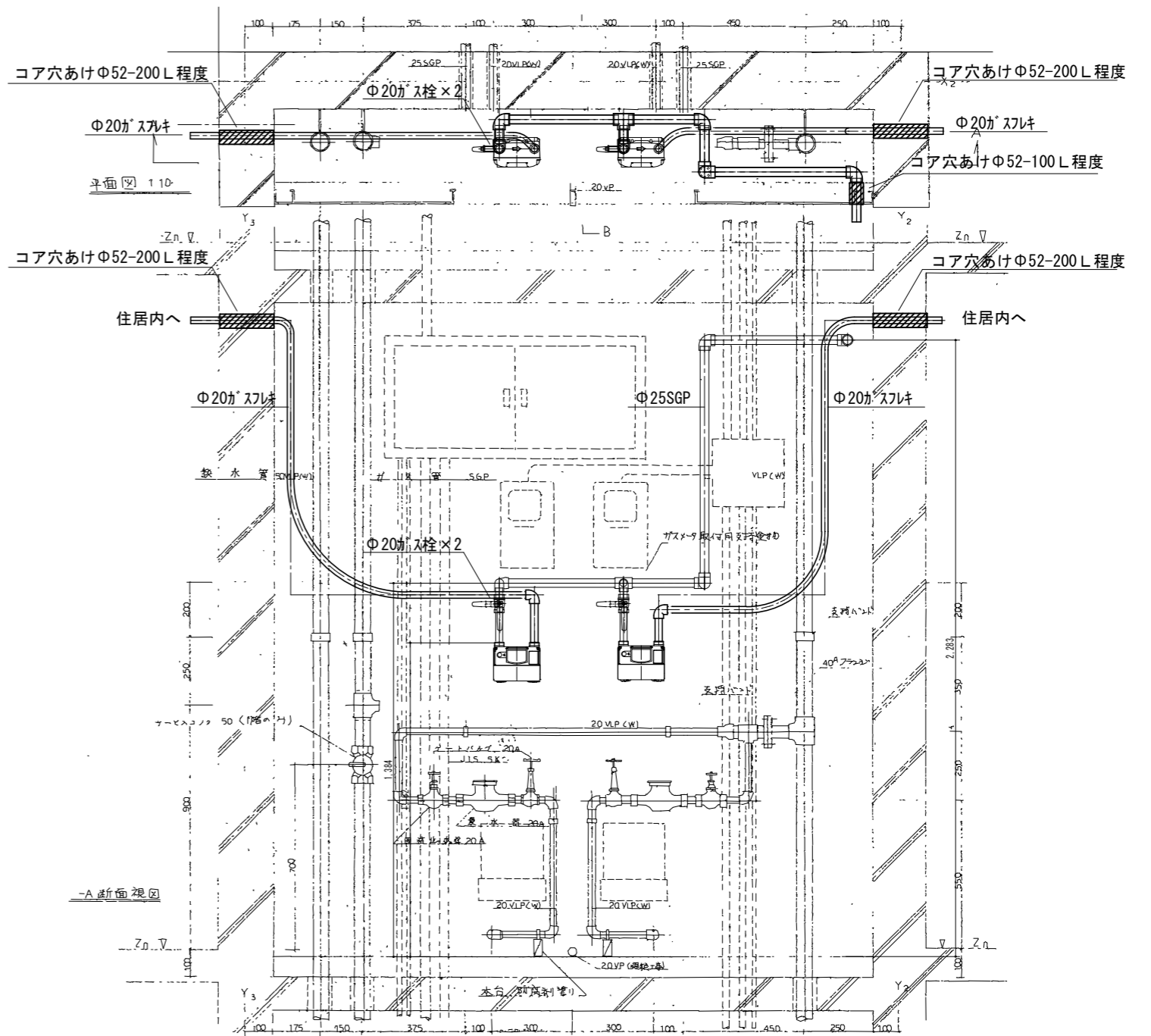
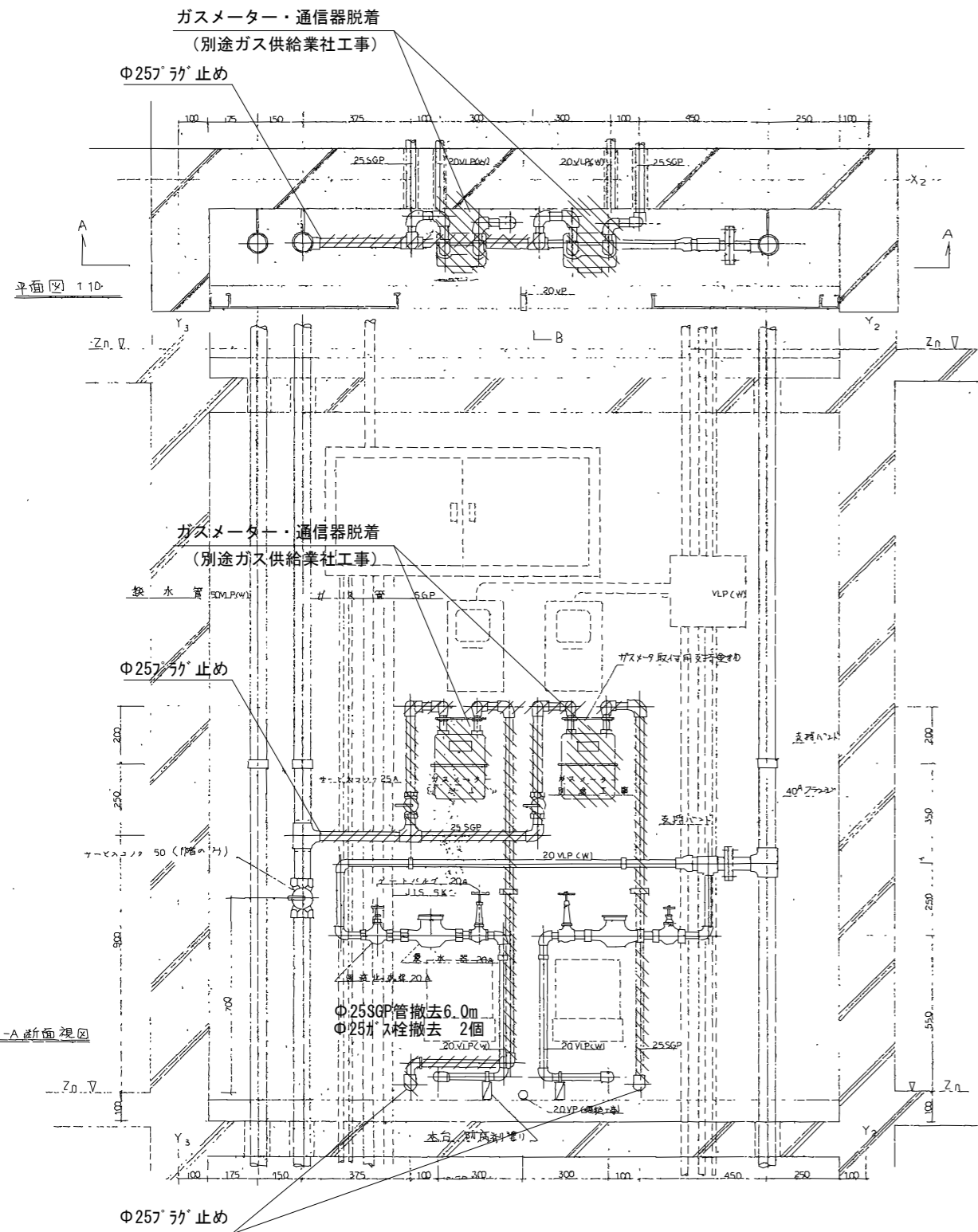


南面立面図 S=1/100

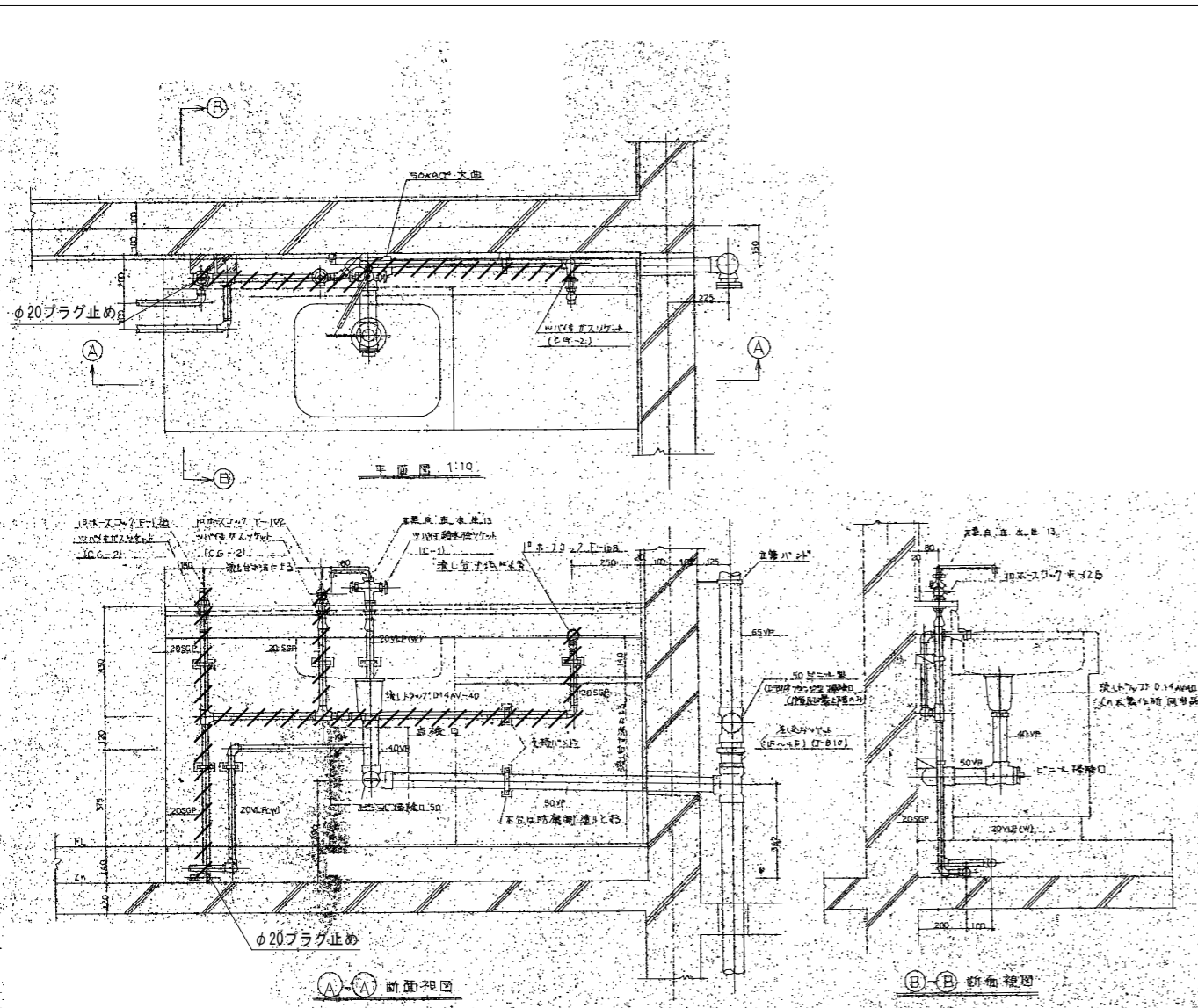


東面立面図 S=1/100

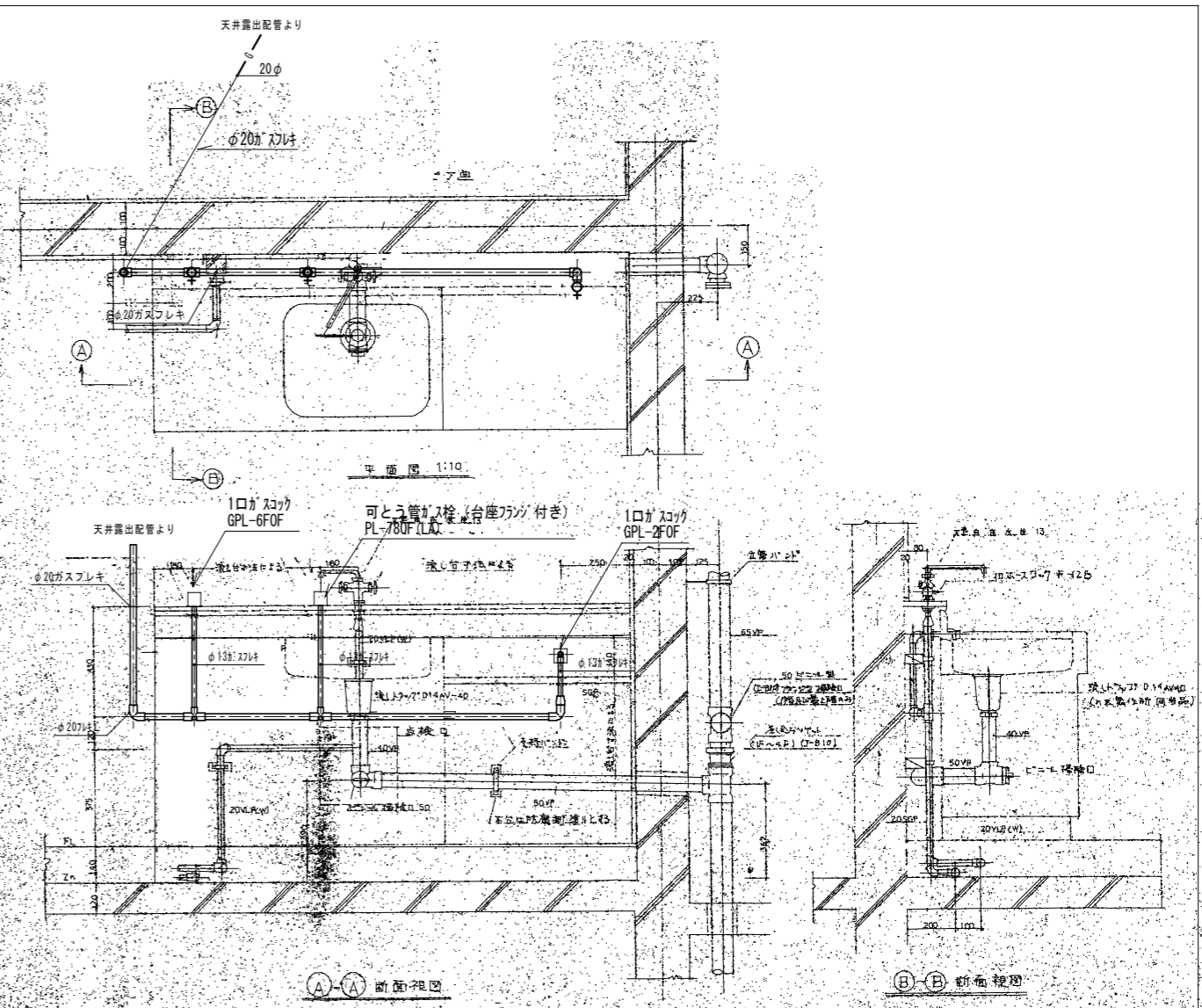
岡田設計 福山市郷分町628-6 TEL (084) 951-2728 一級建築士登録第218306号 岡田 秀仁	担当 岡田	A 2	100%	訂正	特記	有実住宅8号棟外壁・ガス管改修工事	M-4
	製図 2026. 3. 25	A 3	71%				
	検図 2026. 3. 25						



担当	A 2	100%	訂正
担当 岡田			
製図 2026.3.25	A 3	71%	
検図 2026.3.25			



・流し台取り外し・再取り付けは建築工事
 ・配管撤去新設復旧は機械設備工事



・流し台取り外し・再取り付けは建築工事
 ・配管撤去新設復旧は機械設備工事

ガス撤去図 1/15

ガス新設図 1/15